

はじめに

岐阜県博物館は、昭和 51 年 5 月岐阜県百年公園内に総合博物館として開館しました。以来、岐阜県に関わりのある人文、自然についての資料の収集・整理・分類・保存、調査研究を重ね、その成果を常設展示、特別展示、資料紹介展示及び関連した講座、講演会、観察会などの諸事業を通して広く県民への普及を図ってきました。平成 7 年 7 月にはマイ・ミュージアムが増設されて、マイミュージアムギャラリーの他、ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」や、ハイビジョン静止画制作システムなどの情報機器を整備し「であい楽しい情報ステーション」をキーワードに参加体験機能を持つ博物館として拡充発展を図ってきました。

平成 13 年度には、夏季特別展として「あのころいた鳥～そういえばトキもおったげな～」を、秋季特別展として「七代目団十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」を開催しました。

夏の特別展「あのころいた鳥」は、平成 11 年度に岐阜市の柳原亮一さんから寄贈を受けた 1521 点の鳥類の標本の一部を展示すると共に、改訂された「日本の絶滅のおそれのある鳥類」についても紹介し、新たな世紀を迎えた私たちが未来の世代へ何を残すべきかを、みなさんと共に考える機会としました。

秋の特別展「七代目団十郎と国貞、国芳」は、美濃でも舞台をつとめた、江戸歌舞伎界の立役者・七代目市川団十郎に焦点を当て、彼の波瀾に満ちた生涯や美濃との関わりを彼の肉筆浮世絵をはじめ、彼と交流の深かった歌川国貞、歌川国芳の芝居絵や七代目がひいきに贈った夜具や紋入りの茶碗などの愛用品を通して紹介しました。

また、その他の企画展、自然と人との関わりを通して石の魅力を紹介した資料紹介展「ようこそ 石の世界へ!」、平成 12 年に増山たづ子氏から寄贈された写真パネルを中心に、ふるさと徳山の自然とそこに暮らした人々の姿を紹介した資料紹介展「わたしの徳山～増山たづ子故郷の記録～」、隣県の博物館との交流事業として本年度から新たに始めた日本まんなか共和国博物館交流事業特別企画「信長、安土より来る～安土城考古博物館所蔵品紹介展～」、県有施設との交流・協力事業として本年度から新たに実施した岐阜県図書館との共催事業である岐阜県図書館収蔵資料展「古地図にみる世界の広がり～近世のヨーロッパ人・日本人が見た世界・アジア・日本～」、(財)岐阜県文化財保護センターの発掘速報展「いにしえの美濃と飛騨」、さらには年間 8 回開催したマイミュージアムギャラリー展示につきましても、それぞれ高い評価を頂き、県民のみなさんをはじめ近県からも多くの来館者を得ることができました。

資料収集では、安土桃山時代から江戸時代に制作された美濃彫鐔 4 点、加藤五輔作「月にすすき図花瓶」三代歌川広重の「大日本物産双録」、ステゴザウルスの全身骨格複製標本(全長 7m)、ライチョウ(夏毛・冬毛)等のバードカービングなどを購入しました。また、ほ乳類・鳥類標本、植物標本、鉱物標本など多数の寄贈を得ることができました。これらの館蔵資料のデジタルアーカイブ化も進みました。

平成 14 年度には、複雑な社会に生きる私たちの心と体を癒やしてくれる、大地の恵みである“温泉”という自然に焦点を当て、科学の視点から“温泉”を捉え、そのすばらしさを紹介する春季特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ～」、中山道宿駅制定から 400 年を迎えることを記念して、五街道の一つである中山道が果たした役割や東西の文化交流の様子などを紹介する秋季特別展「中山道 街道 400 年」、資料紹介展「海外からやってきた生き物たち」、資料紹介展「近世ふるさとの文人たち～石田コレクションより～」、日本まんなか共和国博物館交流事業特別企画「よみがえる幻の宮～斎宮歴史博物館所蔵品紹介展～」、岐阜県図書館収蔵資料展「地図でみる中山道」、(財)岐阜県文化財保護センターによる発掘速報展「いにしえの美濃と飛騨」などの企画展をはじめ、県民及び県ゆかりの方々の収集品や生涯学習作品を公開するマイミュージアムギャラリーの展示、博物館講座、講演会、たのしい博物館、自然観察会、特別行事など県民のみなさんが気軽に参加していただき、誰もが楽しめる催しものを数多く計画しています。

ここに平成 13 年度の事業記録と、平成 14 年度の事業計画の概要を紹介する館報 25 号を刊行しました。ご高覧いただき、ご指導賜りますようお願いいたします。

平成 14 年 4 月 1 日

岐阜県博物館長 高 橋 宏 之

目 次

はじめに

I 博物館概要

○設置目的	3
○基本的性格と方針	3
○沿革	4
○施設・設備	5

II 平成 14 年度 組織・運営

○組織	7
○事業計画	7

III 平成 13 年度のあゆみ

○職員	9
○日誌抄	10
○岐阜県博物館協議会	10
○実施事業の概要	11
○特別展	
□夏季特別展「あのころいた鳥」	12
□秋季特別展「七代目団十郎と国貞、国芳」	13
○資料紹介展	
□資料紹介展 1「ようこそ 石の世界へ！」	14
□資料紹介展 2「わたしの徳山」	15
○特別企画	
□日本まんなか共和国博物館交流事業特別企画「信長、安土より来る」 ..	16
○マイミュージアムギャラリー	17
○岐阜県図書館収蔵資料展	19
○（財）岐阜県文化財保護センター速報展	20
○調査研究・資料収集活動	
□自然部門	21
□人文部門	24
□マイ・ミュージアム部門	26
○教育普及活動	28
○図書資料寄贈者芳名一覧	31
○利用状況	34
○博物館関係団体	34

IV 利用案内（平成 14 年度）

I 博物館概要

〔設置目的〕

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を公開し、併せて、教育普及活動を行うことにより広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

〔基本的性格と方針〕

1 基本的性格

- ・ 岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学）等に関する諸資料の収集、保管、展示、調査研究およびそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・ 県内外の博物館および相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・ 学校教育・社会教育との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発させるような生涯学習機関とする。
- ・ マルチメディアシステムを活用し、「ハイパーハイビジョン風土記」を主とした地域情報や博物館資料などの情報の収集、加工、発信、受信を行い、情報化社会に対応した博物館を目指す。
- ・ 資料の収集および保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

2 基本方針

(1) 資料収集

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。
資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。
寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と特別展示とする。
常設展示は、総合展示と課題展示とし、それぞれ人文、自然の2部門に分ける。総合展示は、だれにも親しめるよう平易な展示を心掛け、本県の歴史の発展の概要と、自然環境の概要を理解しやすく展示する。課題展示は、内容において、前者よりやや高度なものと
する。
特別展示は、特定の企画とテーマを設けて、展示をする。
展示は、(ア)生涯学習の場として、幅広い層に親しめる展示(イ)資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示(ウ)各時代の特色やテーマの本質をと

らえた展示(エ)できる限り実物資料の展示をするが、更に、図表、模型等多種類の資料も活用した展示(オ)視資料にできり限り直接触れることのできる展示(カ)視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示(キ)解説が明確で分かりやすい展示、とする。
展示室の主題と内容は次のとおりである。

○人文展示室1（人文総合展示）

主題「郷土のあゆみ」－原始時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を分かりやすく展示する。

○人文展示室2（人文課題展示）

主題「郷土の民俗と美術工芸」－特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。

○自然展示室1（自然総合展示）

主題「郷土の自然とおいたち」－郷土の自然の概要を生態的に分かりやすく展示する。

○自然展示室2（自然課題展示）

主題「郷土のさまざまな自然」－特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。

○特別展示室（特別展示）

特定の企画とテーマを設けて年に数回展示する。

(3) 調査研究

- ・ 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・ 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

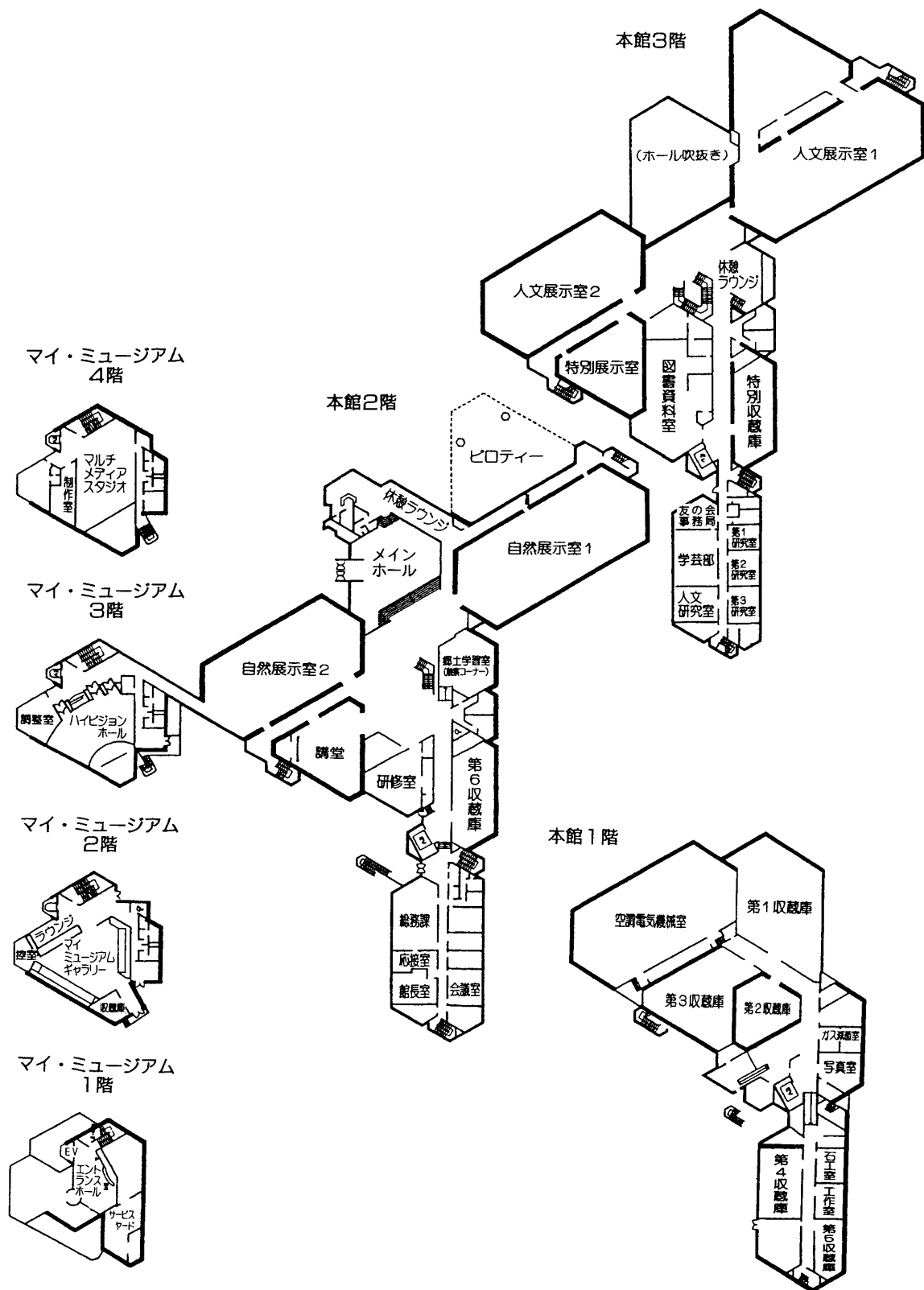
教育普及活動は県民との対話ツール（道具）である。
博物館の特性とそれを生かした調査研究の成果を集約した教育普及活動の展開を図る。

〔沿革〕

昭和46年	3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定		10月	特別展「飛騨の匠」 旧徳山村民家移築復元		10月	特別展「美濃・飛騨の古代史 発掘一律令国家の時代ー」
	4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置	昭和63年	1月	自然展示室Ⅰを改装			入定「百年記念「円空展」(名古屋市と共催)
	6～9月	博物館懇談会を設ける		4月	特別展示室ショーケース改修			県下第1号として「マルチメディア工房・ぎふ」開設
昭和47年	4月	博物館開設準備室を設置 展示委員会を設ける		7月	中部未来博'88記念展「中山道ー美濃十六宿ー」		11月	円空シンポジウム「世界における円空」
昭和48年	8月	起上式挙行		10月	特別展「中生代の化石」 入館者120万人を突破	平成8年	5月	入館者170万人を突破
昭和49年	3月	展示実施計画樹立	平成元年	4月	特別展「濃飛の古墳時代」		7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
	10月	定礎式		7月	特別展「ふるさとの野鳥」		8月	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学附属地球科学博物館と友好提携調印式挙行
昭和50年	3月	展示工事着手		8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見		10月	飛騨美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」
昭和51年	7月	本館建築竣工		10月	特別展「移ろいゆく年中行事」 日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊の寄贈を受ける		11月	飛騨美濃合併120周年記念「文化講演会」 講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏
	1月	展示工事完了		11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊の寄贈を受ける	平成9年	3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」中山道編ソフト完成
	4月	岐阜県博物館条例公布 岐阜県博物館設置 展示資料等製作完了	平成2年	4月	特別展「輪中と治水」 特別展「白山の自然」 「恐竜足跡化石レプリカ除幕式グリーンアドベンチャー標識設置(自然観察のこみち)岐阜県博物館協議会に、「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問		4月	特別展「花と鳥のイリュージョンー江」の学問と芸術ー
	5月	開館記念式典挙行 一般公開「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」		7月			9月	特別展「葉草のふるさと伊吹」 入館者180万人を突破
	7月	皇太子・同妃殿下行啓					11月	欄橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”ー来るべき世紀の新しい博物館を目指してー」財団法人日本博物館協会表彰
	8月	特別展「ふるさとの文楽」 入館者10万人を突破		10月	特別展「濃飛の仏像」	平成10年	3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」飛騨街道・郡上街道編ソフト完成
昭和52年	10月	入館料徴収開始		12月	岐阜県博物館協議会から中間答申		4月	アロサウルス骨格標本展示 ハイパービジョン風土記「ひだ・みの紀行」完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」
	11月	特別展「熊谷守一展」 入館者20万人を突破	平成3年	3月	岐阜県博物館案内標識を設置		7月	特別展「つものつかぶとむし」
	5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」 入館者20万人を突破		4月	特別展「ふるさとの木の文化」 特別展「ふるさとの哺乳動物」		9月	特別展「能面へのいざないー白山山麓からー」
昭和53年	7月	特別展「郷土の化石展」 入館者30万人を突破		7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」		7月	特別展「恐竜時代ーモンゴルと手取層群の恐竜たちー」 入館者190万人を突破
	4月	入館者30万人を突破 特別展「濃飛の甲冑」 特別展「世界のコガネムシ」		10月	置県120年・岐阜県児島姉妹県盟約20周年記念展「鹿児島ーその自然と歴史ー」	平成11年	7月	特別展「恐竜時代」入館者4万人突破
	7月	特別展「世界のコガネムシ」 特別展「能面と装束」					10月	特別展「水とまつりー古代人の祈りー」
昭和54年	10月	特別展「能面と装束」 入館者40万人を突破		11月	入館者140万人を突破		10月	特別展「海を越えた明治ーヨーロッパが愛した焼き物の美ー」
	7月	特別展「世界の貝」 特別展「濃飛の先史時代」	平成4年	3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申		7月	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見ー巨大ヒノキが見てきた生き物たちー」 入館者200万人を突破
	10月	特別展「濃飛の文人」 「視覚障害者(触察)コーナー」開設		4月	特別展「飛騨のあけぼのー交流する縄文・古代人ー」	平成12年	7月	特別展「あまのこりいた鳥ーそういえばトキもおったげなー」 特別展「七代目国太郎と国貞、国芳ー芝居、錦絵、中山道ー」
昭和55年	4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」 入館者50万人を突破		7月	特別展「飛騨のあけぼのー交流する縄文・古代人ー」		9月	特別展「七代目国太郎と国貞、国芳ー芝居、錦絵、中山道ー」
	5月	入館者50万人を突破		10月	特別展「恐竜王国・恐竜一謎とロマンー」		11月	ハイビジョン静止画番組「石たちの動物園」(マイミュージアムギャラリー)
昭和56年	7月	特別展「化石の世界」 特別展「糞虫山人」		7月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」 入館者150万人を突破			
	4月	特別展「美濃の絵馬」 入館者50万人を突破		9月	29日大型は乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘	平成13年	7月	特別展「あまのこりいた鳥ーそういえばトキもおったげなー」 特別展「七代目国太郎と国貞、国芳ー芝居、錦絵、中山道ー」
	5月	入館者50万人を突破	平成5年	3月	入館者150万人を突破		9月	特別展「七代目国太郎と国貞、国芳ー芝居、錦絵、中山道ー」
	7月	特別展「御岳山は生きている」 特別展「ふるさとの美濃古陶」		4月	特別展「土と炎の芸術」 29日大型は乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘		10月	特別展「七代目国太郎と国貞、国芳ー芝居、錦絵、中山道ー」
昭和57年	4月	特別展「高賀山の信仰」 入館者70万人を突破		10月	特別展「失われゆく植物」 11月「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシュミレーションソフトの完成		10月	特別展「七代目国太郎と国貞、国芳ー芝居、錦絵、中山道ー」
	7月	特別展「ふるさとの植物」 特別展「東洋の貨幣」		11月	「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシュミレーションソフトの完成	平成12年	7月	特別展「あまのこりいた鳥ーそういえばトキもおったげなー」 特別展「七代目国太郎と国貞、国芳ー芝居、錦絵、中山道ー」
昭和58年	4月	特別展「岐阜県の考古遺物」 入館者80万人を突破						
	5月	入館者80万人を突破						
	7月	特別展「長良川」 特別展「郷土の生んだ先覚者」	平成6年	1日	20日マイ・ミュージアム棟起工式		9月	特別展「あまのこりいた鳥ーそういえばトキもおったげなー」 特別展「七代目国太郎と国貞、国芳ー芝居、錦絵、中山道ー」
昭和59年	4月	特別展「濃飛の戦国武将」 特別展「ふるさとの昆虫」		3月	大型は乳類足跡化石を展示		11月	特別展「あまのこりいた鳥ーそういえばトキもおったげなー」 特別展「七代目国太郎と国貞、国芳ー芝居、錦絵、中山道ー」
	7月	特別展「ふるさとの昆虫」 入館者90万人を突破		4月	特別展「川に生きるー水運と漁労ー」 恐竜の歯等荘川村で発見			
	8月	入館者90万人を突破		8月	恐竜の歯等荘川村で発見			
	10月	学習ビデオスタジオコーナー設置		9月	特別展「美濃山地の自然」			
昭和60年		特別展「濃飛の蘭学」 特別展「濃飛の縄文時代」		10月	入館者160万人を突破		9月	特別展「七代目国太郎と国貞、国芳ー芝居、錦絵、中山道ー」
	4月	特別展「濃飛の縄文時代」		12月	ユタ州訪問(花フェスタ'95展示化石の借用、交流の推進)		11月	ハイビジョン静止画番組「石たちの動物園」(マイミュージアムギャラリー)
	7月	特別展「鉱物の世界」 特別展「美濃の刀剣」				平成14年	2月	特別展「あまのこりいた鳥ーそういえばトキもおったげなー」 特別展「七代目国太郎と国貞、国芳ー芝居、錦絵、中山道ー」
	10月	入館者100万人を突破	平成7年	3月	マイ・ミュージアム棟工事の完成 ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」美濃路編ソフト完成			
昭和61年	12月	自然展示室Ⅱを改装		4月	特別展「岐阜の淡水魚」 花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示			
	4月	特別展「徳山の四季とくらし」		7月	マイ・ミュージアム(マルチメディア情報センター)落成式典挙行 一般公開		3月	バリアフリー対策事業小型モノレール(スロープカー)完成
	7月	特別展「奥飛騨の自然」		8月	恐竜ゼミナール GIGU'95開催			
	9月	人文展示室Ⅰを改装						
	10月	開館10周年記念式典を挙行 開館10周年記念展「ふるさとの祭り」						
昭和62年	4月	特別展「飛騨の弥生時代」 入館者110万人を突破						
	7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」						

〔施設・設備〕

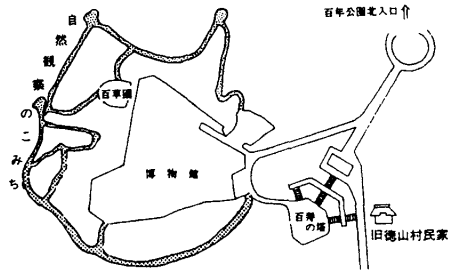
1 博物館



・主要室（名及び面積）

本館	室名	面積（㎡）	マイ・ミュージアム	室名	面積（㎡）
1階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0	2階	マイミュージアムギャラリー	202.3
	第3収蔵庫	192.0		収蔵庫	25.3
	第4収蔵庫	99.4	3階	控室	18.5
	第5収蔵庫	55.0		ハイビジョンホール	192.3
2階	自然展示室Ⅰ	583.8	4階	調整室	47.0
	自然展示室Ⅱ	478.8		マルチメディアスタジオ	206.3
	郷土学習室	95.4		制作室	31.2
	講堂	174.5		応接室	43.8
	研修室	93.2			
	第6収蔵庫	142.8			
3階	人文展示室Ⅰ	942.2			
	人文展示室Ⅱ	478.8			
	特別展示室	193.2			
	図書資料室	232.0			
	特別収蔵庫	142.8			

2 館外施設



(1) 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

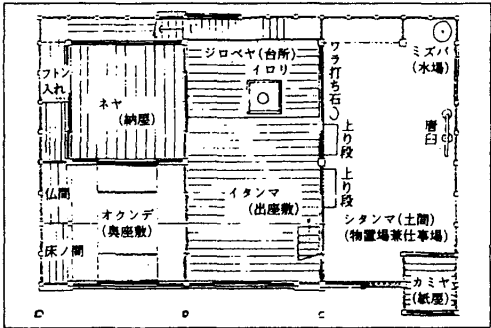
全長約830mで、途中見晴らし台が3ヶ所、万葉集の植物の案内、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、40本の樹木にQ&Aパネルを設置している

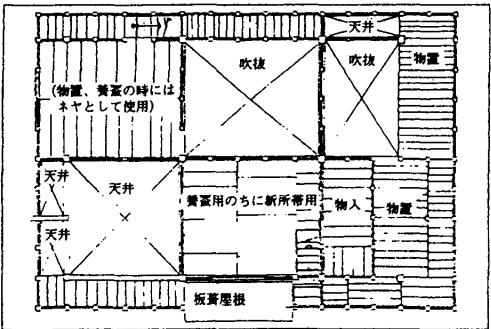
(2) 旧徳山村民家

徳山ダム建設計画に伴い、徳山村は閉村となり藤橋村になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料開放している。なお、平成13年9月、茅葺屋根の一部葺き替えを実施した。

- ・様式 木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材 プナ・トチ
- ・建面積 120.97㎡
- ・延面積 197.48㎡
- ・間取り 下図参照
- ・建築年代 幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋根 入母屋、切り落とし窓つき



▲1階間取り図



▲2階間取り図

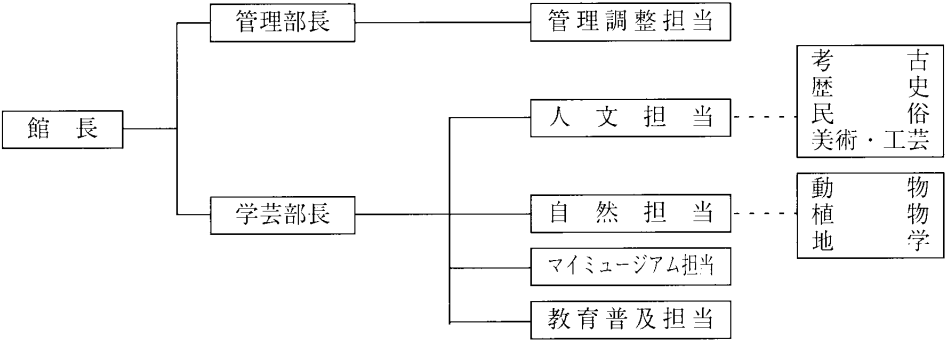


Ⅱ 平成 14 年度 組織・運営

〔組 織〕

平成 14 年 4 月現在

1 機構



2 職員

職 名 (担当)	氏 名	職 名 (担当)	氏 名	職 名 (担当)	氏 名
館 長	高 橋 宏 之	〔学芸部〕		(マイ・ミュージアム担当)	
〔管理部〕		学 芸 部 長	遠 藤 俊 治	課 長 補 佐	若 尾 泰 明
教育委員会事務局参事兼管理部長	宗 宮 正 道	(人文担当)		課 長 補 佐	熊 崎 康 文
(管理調整担当)		課 長 補 佐	生 田 邦 雄	学 芸 主 事	江 口 健 治 郎
課 長 補 佐	服 部 豪 一	課 長 補 佐 (民俗)	坂 口 浩 之	(教育普及担当)	
主 査	山 越 国 昭	〃 (歴史)	早 川 克 司	課 長 補 佐	日 比 野 利 弘
〃	山 田 郁 子	(兼) 学芸主事 (考古)	長 屋 幸 二	(兼) 課 長 補 佐	豊 田 文 秀
主 任 事	伏 屋 俊 宏	主 任 (美術工芸)	岩 佐 伸 一	学 芸 業 務 推 進 職	國 光 正 宏
管 理 業 務 推 進 職	小 林 夕 香	(自然担当)		〃	山 本 猛
	小 島 紀 美	課 長 補 佐	石 田 克 一		
	小 原 眞 紀 子	課 長 補 佐 (植物)	井 上 好 章		
	西 村 千 恵 美	学 芸 主 事 (地学)	古 田 靖 志		
	渡 邊 祐 子	主 任 (動物)	説 田 健 一		
	春 田 朋 子	学芸業務推進職 (古生物)	脇 本 晃 美		
	幅 真 由 美				

〔事業計画〕

1 展示活動

展 示 名	期 間	主 な 展 示 内 容
常 設 展	通 年	自然展示室は「郷土の自然とおいたち」と「郷土のさまざまな自然」をテーマに岐阜県の大地ができたようす、郷土の自然とあらし、ふるさとの動物・植物・岩石を展示している。人文展示室は「郷土のあゆみ」と「郷土の民俗と美術工芸」をテーマに郷土の原始時代から現在に至る歴史的な遺産や伝統的美術工芸品等を紹介している。
春季特別展 「温泉展」	4/26 (金) ～ 6/30 (日)	温泉は、複雑な社会に生きる私たちの心と体をいやしてくれる大地の恵みである。そんな身近で関心の高い温泉を科学の視点からとらえ、そのすばらしさを紹介する。
資料紹介展 「海外からやってきた 生き物たち」	7/20 (土、祝) ～ 9/23 (月、祝)	私たちの身の回りの自然の中にはもともとその地域にいなかった生き物が数多く見られます。この展覧会ではアライグマやセイダカアワダチソウなどの外来の生き物を通して人と生き物との関わりについて考える機会とする。
秋季特別展 「中山道 街道 400 年」	10/5 (土) ～ 11/10 (日)	中山道宿駅制度制定から 400 年を迎えることを記念して、五街道の一つである中山道が果たした役割や東西の文化交流の様子などを展示・紹介する。
岐阜県図書館収蔵資料展 「地図でみる中山道」	10/5 (土) ～ 11/10 (日)	岐阜県図書館所蔵の古地図の中から中山道沿いの国絵図・道中図・温泉図名所旧跡図などを展示し、江戸時代の人々の息遣いとその背景及び道中の様子を体感していただく機会とする。
発掘速報展 「いにしへの美濃と飛騨」	11/16 (土) ～ 12/15 (日)	(財) 岐阜県文化財保護センターが発掘調査・研究した美濃と飛騨の遺跡に関わる資料を展示し、当時の人々の生活やその背景を紹介する。
資料紹介展 「近世ふるさとの 文人たち」	12/22 (日) ～ 2/2 (日)	梁川星巖や村瀬秋水など江戸時代後期に活躍した岐阜県出身の学者や画家の書画を中心に紹介する。当時の岐阜県の文化水準の高さを感じていただける内容とする。
日本まんなか共和国博物館 交流事業特別企画 「よみがえる幻の宮」	2/9 (日) ～ 3/9 (日)	古代、伊勢神宮に仕えた皇女を斎王 (いつきのみこ)、その宮殿や役所を斎宮 (いつきのみや) といった。斎宮歴史博物館の所蔵品を展示し、古代の華やかな文化を紹介する。
平成14年度新収蔵資料紹介	3/20 (木) ～ 4/9 (水)	14 年度に収蔵した資料を紹介する。
マイミュージアムギャラリー		県民の生涯学習の成果としてのコレクションや作品を期間を決めて展示する。(次頁下表参照)

2 平成 14 年度の教育普及事業

事業名	期 日	対 象	定 員	内 容
特別展講演会	5 / 26	一般	130	温泉はなぜからだに良いか 日本温泉協会会長：木暮金太夫さん
特別展講演会	11 / 4	一般	130	草友和宮と中山道 岩村町歴史資料館顧問：松平兼昌さん
文化講演会				
記念講演会	12 / 1	一般	130	古代の開発～人と自然の格闘の歴史～ 奈良女子大学教授：広瀬和雄さん
博物館講座	4 / 24	教育関係者	50	博物館活用説明会
	5 / 4	一般	130	すばらしい日本の温泉、再発見
	5 / 25	一般	20	I T 応用講習（ホームページ制作）
	6 / 2	一般	130	岐阜の気象のお話 岐阜地方気象台気象予報官
	6 / 15	一般	20	I T 応用講習（文書作成）
	8 / 27	教育関係者	50	博物館活用説明会
	9 / 28	一般	20	I T 応用講習（表計算）
	10 / 12	一般	130	中山道と美濃の宿場
	12 / 7	一般	20	I T 応用講習（文書作成）
	1 / 12	一般	20	I T 応用講習（ホームページ制作）
	1 / 19	一般	130	ふるさとの文人 梁川星巖の人と思想 岐阜工業高等専門学校名誉教授：細川道夫さん
	1 / 26	一般	130	近世ふるさとの文人たち
	2 / 23	一般	20	I T 応用講習（表計算）
	3 / 2	一般	130	インターネットの基礎技術
	3 / 9	一般	130	永河時代の岐阜
自然観察会	4 / 14	一般	20	ギフチョウを観察しよう
	5 / 19	一般	30	岐阜の温泉現地解説ツアー（飛騨小坂温泉郷）
	7 / 21	親子	30	セミの鳴き声を聞こう
	8 / 25	親子	30	セミの鳴き声を聞こう
	1 / 26	一般	20	百年公園のバードウォッチング
	3 / 22	一般	20	百年公園のバードウォッチング
たのしい博物館	4 / 20	一般	40	マルチメディアで調べよう ふるさと岐阜
	4 / 21	一般	20	自然の達人と春の里山で遊ぼう
	4 / 28	親子	25	土笛をつくろう
	5 / 3	親子	30	親子で学ぶ博物館～博物館ガイドツアー～
	5 / 19	一般	40	パンフラワー教室（午前と午後の 2 回実施）
	6 / 1	親子	30	特別展「温泉展」展示解説
	6 / 8	一般	40	マルチメディアで調べよう 温泉の世界
	6 / 9	小学生以上	30	化石を見つけよう
	6 / 22	一般	30	特別展「温泉展」展示解説
	6 / 23	一般	40	竹細工～竹で輪挿しをつくろう～
	6 / 30	一般	20	自然の達人と初夏の里山で遊ぼう
	7 / 7	小学生以上	40	楽しいインターネットの世界
	7 / 20	小学生以上	40	恐竜ナイトツアー（夜の博物館探検）
	7 / 27	親子	40	竹でおもちゃをつくろう
	7 / 28	親子	30	アライグマの絵を描こう
	7 / 28	一般	30	火起こし器をつくろう
	8 / 3	一般	40	ストーンベインティング教室（午前と午後の 2 回実施）
	8 / 4	一般	30	まが玉をつくろう
	8 / 10	一般	40	バードカービング教室
	8 / 11	一般	20	自然の達人と夏の里山で遊ぼう
	8 / 13	親子	30	親子で学ぶ博物館～博物館ガイドツアー～
	8 / 14	一般	40	マルチメディアで調べよう 婦化生物
	8 / 15	親子	30	アライグマの絵を描こう
	8 / 16	一般	40	ふるさと岐阜を調べよう
	8 / 24	一般	30	クイズで探検！博物館
	9 / 8	女性	40	インターネットで広がる充実ライフ
	9 / 15	一般	40	クイズで探検！博物館
	9 / 23	一般	40	ストーンベインティング教室（午前と午後の 2 回実施）
	9 / 29	一般	40	陶芸教室（午前と午後の 2 回実施）
	10 / 6	一般	30	特別展「中山道 街道 400 年」展示解説
	10 / 13	一般	20	自然の達人と秋の里山で遊ぼう
	10 / 14	小学生以上	40	化石をつくろう
	10 / 19	一般	40	マルチメディアで調べよう 中山道
	10 / 27	一般	30	特別展「中山道 街道 400 年」展示解説
	11 / 10	親子	40	森の造形教室～森にすむ動物をつくろう～
	11 / 17	一般	40	パンフラワー教室（午前と午後の 2 回実施）
	11 / 23	一般	40	マルチメディアで調べよう 恐竜の世界
	11 / 24	一般	200	徳山のくらしを体験しよう
	12 / 8	一般	40	和風をつくろう 石原文雄さん
	12 / 15	一般	40	わら細工～正月の飾りをつくろう～
	12 / 22	一般	20	自然の達人と冬の里山で遊ぼう
	12 / 23	一般	40	花もちをつくろう
	1 / 5	一般	20	七草ウォッチング
	2 / 2	一般	30	親子で学ぶ博物館～博物館ガイドツアー～
	2 / 9	小学生親子	40	昔のくらしを体験しよう
	2 / 15	小学生親子	40	昔のくらしを体験しよう
	3 / 16	一般	20	自然の達人と早春の里山で遊ぼう
	3 / 23	一般	20	クイズで探検！博物館
特別行事	4 / 29	一般	300	春のグリーンアドベンチャー
	5 / 5	一般		響け！和太鼓 岐阜県立岐阜総合学園高等学校太鼓部の皆さん
	5 / 6	一般	300	春のグリーンアドベンチャー 2
	5 / 12	一般		新世紀、明るい未来へ…琴からの贈り物 岐阜県立本巣高等学校箏曲部の皆さん
	10 / 6	小学生以上	40	福井県立恐竜博物館見学バスツアー
	10 / 13	高校生以上	20	たんさく 中山道
	10 / 20	小学五年生以上	40	金生山の化石観察バスツアー
	10 / 26	一般	300	秋のグリーンアドベンチャー
	10 / 27	一般	130	講演：岐阜県から産出する大昔の化石とその当時の日本
	11 / 3	中学生以下	400	百年公園・博物館を写生しよう
	1 / 7	一般	400	七草がゆを食べよう

3 マイミュージアムギャラリーの展示（マイミュージアムギャラリーの展示については出展者の責任で行われます。）

展 示 期 間	出 展 者	出 展 内 容
4 / 2 ～ 5 / 6	加納友道・加地宣一・田口慶昭	美濃刀の粋・飛騨・刀彫の妙
5 / 12 ～ 6 / 16	山田良司・小川日出男	二人展～切手とコイン・欧州の写真～
6 / 23 ～ 8 / 4	岡部幸子	野球に生きて～ある軌式野球審判員 5578 試合の記録～
8 / 10 ～ 9 / 16	五十川 武・岐阜折紙会	折り紙の魅力～紙の織りなす夢の世界～
9 / 22 ～ 11 / 4	近代日本美術工芸研究会	万国博覧会の華～帰郷した七宝の美～
11 / 10 ～ 12 / 23	永井鏡子	創作人形の世界～語りかけける人形たち～
1 / 4 ～ 2 / 11	海外日本人学校派遣岐阜県教師の会	楽しい世界の資料紹介展～ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア編～
2 / 16 ～ 3 / 23	桶浦七央美	リメイクの美～地球に優しいリサイクルツールペイントクラフトの魅力～

Ⅲ 平成13年度のあゆみ

〔職員〕

1 職員名簿

職 名 (担当)	氏 名	職 名 (担当)	氏 名	職 名 (担当)	氏 名
館 長	高 橋 宏 之	〔学芸部〕		課 長 補 佐	熊 崎 康 文
教育委員会事務局参事兼管理部長	宗 宮 正 道	学 芸 部 長	遠 藤 俊 治	学 芸 主 事	江 口 健治郎
〔管理部〕		(人文担当)		(教育普及担当)	
(管理調整担当)		課 長 補 佐	安 田 昌 治	課 長 補 佐	奥 村 正 彦
課 長 補 佐	古 川 司 朗	課 長 補 佐 (考古)	坂 口 浩 之	(兼) 課 長 補 佐	鎌 田 嘉 彦
主 査	小 川 百 合 子	課 長 補 佐 (歴史)	早 川 克 司	学 芸 嘱 託 員	富 田 幸 四郎
〃	山 田 郁 子	(兼) 課長補佐 (民俗)	青 木 靖 浩	〃	戸 塚 幹 男
〃	小 池 裕 紀	主 任 (美術工芸)	岩 佐 伸 一		
主 事	小 林 夕 香 理	(自然担当)			
業 務 嘱 託 員	河 合 紀 枝	課 長 補 佐	石 田 克		
〃	佐 伯 麻 里	課 長 補 佐 (植物)	井 上 好 章		
〃	小 島 紀 美	学 芸 主 事 (地学)	古 田 靖 志		
〃 (～6月)	平 井 江 里 子	主 任 (動物)	説 田 健 一		
〃	小 原 眞 紀 子	学 芸 嘱 託 員 (地学)	河 尻 清 和		
	西 村 千 恵 美	(マイ・ミュージアム担当)			
〃 (7月～)	渡 邊 祐 子	学 芸 主 事	岩 田 正 雄		

2 異動

転出 課長補佐兼自然係長 鹿 野 勘 次
課 長 補 佐 松 田 千 晴
主 任 木 嶋 千 晴

退職 館 長 遠 藤 祐 伸
次 長 兼 総 務 課 長 伊 藤 金 夫
業 務 嘱 託 員 市 原 麻 利 子
〃 (6月30日) 平 井 江 里 子

転入 館 長 高 橋 宏 之
教育委員会事務局参事兼管理部長 宗 宮 正 道
課 長 補 佐 石 田 克
課 長 補 佐 早 川 克 司
主 査 小 川 百 合 子

新任 業 務 嘱 託 員 西 村 千 恵 美
〃 (7月1日) 渡 邊 祐 子

3 歴代館長名簿

	在職期間 (年度)	氏 名
1	昭和 51 年	小 幡 忠 良
2	昭和 52 年～昭和 54 年	松 尾 克 美
3	昭和 55 年～昭和 56 年	大 橋 桃 之 輔
4	昭和 57 年～昭和 58 年	吉 本 幹 彦
5	昭和 59 年	関 谷 美 智 男
6	昭和 60 年～昭和 61 年	廣 田 照 夫
7	昭和 62 年～昭和 63 年	森 崎 利 光

	在職期間 (年度)	氏 名
8	平成元年～平成 2 年	伊 藤 秀 幸
9	平成 3 年～平成 4 年	篠 田 幸 男
10	平成 5 年～平成 6 年	横 山 勢 津 男
11	平成 7 年～平成 8 年	清 水 廣 美
12	平成 9 年～平成 10 年	高 田 晃
13	平成 11 年～平成 12 年	遠 藤 祐 神

【日誌抄】

平成 13 年度

4. 1 「岐阜県博物館報」第 24 号発行
1 人事異動に伴う辞令交付
1 マイミュージアムギャラリー「銀鱗の魚皮拓展」(～5 月 6 日)
8 新収蔵資料紹介(～4 月 22 日)
8 自然観察会「百年公園のバードウォッチング 1」
15 たのしい博物館「自然の達人と春の里山で遊ぼう」
18 資料紹介展「ようこそ石の世界へ！」(～7 月 8 日)
21 第 1 回博物館サポーター研修
28 岐阜県博物館友の会総会
28 たのしい博物館「マルチメディアで調べよう ふるさと岐阜」
29 特別行事「グリーンアドベンチャー 1」
5. 3 たのしい博物館「上笛をつくろう」
4 たのしい博物館「クイズで探検！博物館」
5 特別行事「響け！和太鼓」
5 マイミュージアムギャラリー講演会「動物は私の先生」
6 特別行事「グリーンアドベンチャー 2」
7 岐阜県博物館協会役員会・総会
13 マイミュージアムギャラリー「織部の詩・水彩の詩」(～6 月 11 日)
13 たのしい博物館「資料紹介見学ツアー 1」
20 博物館講座「温泉入門 1」
26 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう①」
27 たのしい博物館「化石をつくろう」
6. 3 たのしい博物館「陶芸教室・茶碗をつくろう 午前の部・午後の部」
7～8 東海地区博物館連絡協議会、日本博物館協会東海支部理事会・総会(於 たのしい博物館「資料紹介見学ツアー 2」)
23 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう②」
24 マイミュージアムギャラリー「絵と音のファンタジー」(～7 月 29 日)
24 たのしい博物館「竹細工」
26 日本博物館協会評議員会(於：東京)
27 全国博物館館長会議(於：東京)
28 全国科学博物館協議会総会(於：東京)
28～29 I T 基礎技能講習 A コース(10 人)
7. 1 博物館講座「鳥見鳥旅探検報告会」
2 たのしい博物館「竹細工」
3～4 I T 基礎技能講習 B コース(40 人)
8 たのしい博物館「パンフラワー教室午前の部・午後の部」
15 たのしい博物館「楽しいインターネットの世界」
20 特別展「あのころたの鳥」(～9 月 16 日)
21～22 たのしい博物館「恐竜ナイトツアー・夜の博物館探検」
22 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう③」
22 マイミュージアムギャラリー関連特別企画「歌の絵本コンサート」
28 たのしい博物館「特別見学ツアー」
28 たのしい博物館「竹でおもちゃをつくろう」
8. 1 マイミュージアムギャラリー「石ころた

- ちの動物園」(～9 月 16 日)
2～3 特別行事「タイムスリップ探検隊」
2～3 I T 基礎技能講習 A コース(10 人)
2～3 東海三県博物館協会交流研修会(於：伊勢市)
4 たのしい博物館「バードカービング教室 1」
5 たのしい博物館「バードカービング教室 2」
7～8 I T 基礎技能講習 B コース(40 人)
11～12 たのしい博物館「恐竜ナイトツアー 2・夜の博物館探検」
12 たのしい博物館「自然の達人と夏の里山で遊ぼう」
15 たのしい博物館「親子で学ぶ博物館 1」
17 たのしい博物館「長良川の川原の石の観察会」
18 たのしい博物館「マルチメディアで調べよう！化石の世界」
19 たのしい博物館「火起こし器をつくろう」
19 旧徳山民家屋根葺き替え見学会 午前の部・午後の部
23～34 I T 基礎技能講習 A コース(10 人)
25 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう④」
26 特別展講演会「なぜタカを守るのか」
26 マイミュージアムギャラリー関連事業「ストーンペンディング教室」
28～29 I T 基礎技能講習 B コース(40 人)
9. 1 たのしい博物館「マルチメディアで調べよう 鳥の世界」
9 たのしい博物館「インターネットで広がるライブ情報」
13～14 I T 基礎技能講習 A コース(10 人)
15 特別行事「化石ゼミナール 1・恐竜時代の化石観察バスツアー」
22 たのしい博物館「クイズで探検！博物館 2」
23 マイミュージアムギャラリー「歌舞伎に魅力」(～11 月 4 日)
23 博物館講座「温泉入門 2」
26～28 I T 基礎技能講習 C コース(2 人 視覚障害者)
30 特別展「七代目団十郎と国貞、国芳」(～11 月 4 日)
10. 2～3 I T 基礎技能講習 B コース(40 人)
6 岐阜県図書館収蔵資料展(～11 月 4 日)
7 特別展講演会・文化講演会「市川団十郎と江戸の歌舞伎」
11～12 I T 基礎技能講習 A コース(10 人)
14 博物館講座「団十郎と浮世絵の世界を訪ねる」
21 たのしい博物館「山の幸染め 午前の部・午後の部」
21 特別行事「化石ゼミナール 2・講演会」
24～26 I T 基礎技能講習 C コース(2 人 視覚障害者)
28 特別行事「化石ゼミナール 3・化石を見つけよう」
28 マイミュージアムギャラリー特別企画「押し隠体験」
11. 2 第 45 回岐阜県児童生徒科学作品展 中央展・社会科課題追究学習作品展(～11 月 4 日)
3 特別行事「百年公園・博物館を写生しよう」
4 特別行事「化石ゼミナール 4・観察パス

- ツアー」
11 マイミュージアムギャラリー「関・春日神社の宝物」(～12 月 24 日)
11 たのしい博物館「森の造形教室」
17 発掘速報展「いにしえの美濃と飛騨」(～12 月 16 日)
18 たのしい博物館「自然の達人と秋の里山で遊ぼう」
23 たのしい博物館「親子で学ぶ博物館 2」
24 たのしい博物館「マルチメディアで調べよう 恐竜の世界」
25 記念講演会「水と人の歴史」
12. 9 たのしい博物館「和風をつくろう」
13～14 I T 基礎技能講習 B コース(40 人)
17 たのしい博物館「わら細工・正月の飾りをつくろう」
23 資料紹介展「わたしの徳山」(～2 月 3 日)
23 たのしい博物館「花もちふるさと」
1. 4 マイミュージアムギャラリー「楽しい世界の資料紹介展～中近東・アフリカ編」(～2 月 4 日)
5 たのしい博物館「七草ウォッチング」
5 特別行事「七草がゆを食べよう」
6 資料紹介展特別行事映画「ふるさと」上映会
8～9 I T 基礎技能講習 B コース(40 人)
13 博物館講座「ホームページ制作講座 ①」
13 たのしい博物館「自然の達人と冬の里山で遊ぼう」
14 たのしい博物館「パンフラワー教室午前の部・午後の部」
20 博物館講座「ふるさとと心の宝」
26 たのしい博物館「昔のくらしを体験しよう 1」
27 たのしい博物館「徳山のくらしを体験しよう」
2. 3 たのしい博物館「昔のくらしを体験しよう 2」
3 博物館講座「ホームページ制作講座 ②」
9 日本まんなか共和国博物館交流事業特別企画「信長、安土より来る～安土城考古博物館所蔵品紹介展～」(～3 月 10 日)
10 自然観察会「百年公園のバードウォッチング 2」
17 マイミュージアムギャラリー「パッチワークキルト展」(～3 月 24 日)
17 マイミュージアムギャラリー関連事業「パッチワークキルト教室」
17 博物館講座「安土桃山時代の武将たち」
3. 3 博物館講座「織田信長と近江」
5～6 I T 基礎技能講習 B コース(40 人)
7 マイミュージアムギャラリー関連事業「パッチワークキルト教室」
9 たのしい博物館「親子で学ぶ博物館 3」
10 博物館講座「I T の現状と未来」
14 マイミュージアムギャラリー関連事業「パッチワークキルト教室」
14 博物館講座「旧家から掘り出された宝物」
20 マイミュージアムギャラリー関連事業「パッチワークキルト教室」
21 特別企画「春風にのって～高橋尚子選手の活躍～」(～4 月 14 日)
21 新収蔵資料紹介展示(～4 月 14 日)
24 たのしい博物館「自然の達人と早春の里山で遊ぼう」
27 モノレール(スロープカー)開通式
31 たのしい博物館「クイズで探検！博物館 3」

【岐阜県博物館協議会】

当協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応じ、また意見を述べる機関として、岐阜県博物館条例（昭和 51 年）第 2 条及び第 3 条の規定に基づいて設置され、委員は次のとおりである。

氏 名	勤 務 先	現 職 名
金 山 良 典	(株) 岐阜新聞社	常務取締役
篠 田 薫	学校法人篠田学園	かぐや第一幼稚園長
田 口 義嘉壽	西濃運輸 (株)	カンガルーメセナ協議会長
高 木 美津枝	岐阜市立木之本小学校	岐阜県小学校校長会
◎ 土 屋 齊	(株) 大垣共立銀行	(株) 大垣共立銀行取締役名誉会長
寺 田 隆	N H K 岐阜放送局	N H K 岐阜放送局長
富 田 幸 雄	学校法人富田学園	岐阜県私立中学高等学校協議会長
苗 村 和 男	(株) 中日新聞社	(株) 中日新聞社岐阜支社長
早 川 万 年	岐阜大学	岐阜大学教育学部助教授
福 田 莞 爾	岐阜県博物館友の会	岐阜県博物館友の会長
○ 堀 幹 夫	岐阜女子大学	岐阜女子大学学長
渡 辺 文 雄	揖斐川町大和公民館	岐阜県公民館連合会長

◎会長 ○会長代理

(平成 13 年 3 月 31 日現在 五十音別)

任期は平成 12 年 7 月 26 日～平成 14 年 7 月 25 日

〈開催状況〉

月 日 平成 13 年 7 月 24 日

場 所 岐阜県博物館 講堂

議 事 ・博物館の運営について
一顔の見える博物館「21 世紀型博物館」を目指してー

〔実施事業の概要〕

「博物館での多様な教育サービスの提供」と、「顔の見える博物館」を目指して、平成13年度は、特別展と資料紹介展をそれぞれ2本、共催展など4本と8本のマイミュージアムギャラリーの展覧会、80本余の楽しい博物館事業など、例年になく多くの事業を展開する中で展覧会場や常設展示場内などで積極的に展示解説など来館者との対話に努めた。また、デジタルアーカイブ事業やソーラーエネルギー活用事業も推進した。

博物館前の坂道側面には、モノレールを設置する待望のバリアフリー事業も実施された。

1 調査研究事業

人文分野では、歌舞伎、中山道、昭和のくらしなどのテーマに基づいて調査研究をすすめた。

自然分野では、里山に生息する動植物の分布や生態、山菜や薬草の分布、温泉などの調査研究をすすめた。

2 展示活動

特別展では、自然分野展が寄贈資料を中心に、レッドデータブックをテーマに展示したもので、環境保護とともに郷土の先人の遺業の顕彰など、時代にフットした親しみやすい展示と高く評価された。人文分野展では、岐阜県の文化を掘り起こし、岐阜の特質を浮き彫りにするという、本館の使命を遺憾なく発揮した展示で、非常に質の高い展示と評価された。

資料紹介展では、自然分野がこんにやく石など不思議

で、親しみやすい石の展示やハンズオンを豊富に導入した展示で、人気を博した。人文分野では、資料寄贈者の積極的な協力と人間的な魅力で非常に大きな反響を博した。

他施設との共催展示として、例年の発掘速報展のほか岐阜県図書館の収蔵資料紹介展を開催した。

また、本年度から滋賀、三重、福井、岐阜県の四県で構成する日本まんなか共和国の交流展として、安土城考古博物館所蔵品紹介展を開催した。貴重な資料が多く展示され、歴史に関心が高い多くの方々の好評を博した。また、多くの県民の要望に応じて、臨時に特別企画した高橋尚子展は、準備に困難が予想されたが、選手やその関係機関の協力を得て、盛大に開催することができた。

3 資料収集活動

人文分野では、刀剣の鐔や花瓶など当県ゆかりの品を購入した。また、民具などの寄贈があった。

自然分野では、恐竜ステゴサウルスの全身骨格（レプリカ）を購入した。また、カタクリ群落ジオラマや動物剥製標本の依託製作を実施した。また、県内動植物の採集、標本の寄贈を受けた。

4 教育普及活動

体験・講座などの「たのしい、博物館」や「特別行事」など、80本余の催し物を開催した。また、関市の小・中学生の博物館活用事業や、その他の学校利用への便に資するよう「博物館での学習活動例」や「ビンゴゲーム」を作成するなど、博物館での学習活動の活性化を図るべく、様々な事業を積極的に実施した。

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常 設 展	年 間	・人文展示室1の考古、歴史、人文展示室2の美術工芸および民俗資料の展示替えをした。また、人文展示室1の前に（財）岐阜県文化財保護センター展示コーナーを新設し、半期ごとに展示替えをした。 ・自然展示室2の天然記念物のコーナーの大部分を岐阜県のレッドデータブックコーナーに変更し、イヌワシ、ミカワバイケイソウ等、岐阜県の絶滅危惧種を展示した。	
資料紹介展 「ようこそ石の世界へ」	4/18 ～ 7/8	今回は、館蔵の地学資料の中から、魅力ある「石」を紹介し、石の魅力や人と石とのかわり、石で遊べる体験コーナーなどをとおして、石に親しむ機会とした。	18,613
特別展 「あのころいた鳥」 ～そういえばトキもあったげな～	7/20 ～ 9/16	平成11年度に寄贈を受けた、明治から昭和初期に収集された鳥のコレクションの中から、レッドデータブックをテーマに貴重な鳥類の生態や保護の様子を、触れる剥製や鳥の鳴き声などのハンズオンと一緒に分かりやすく紹介した。	13,853
特別展 「七代目团十郎と国貞、国芳」 ～芝居、錦絵、中山道～	9/30 ～ 11/4	江戸時代を代表する歌舞伎役者、七代目市川团十郎は美濃でも舞台をつとめ大変な評判を得ていたことを、七代目の愛用品や舞台の様子が描かれた浮世絵などで紹介した。また、伊奈波神社境内のいなば芝居の様子や歌舞伎文化を、七代目の姿をよく描いた浮世絵師・歌川国貞、国芳の役者絵や木曾街道の浮世絵、まねき、あばれ鬘斗などの展示やパソコンやツケキ、雨団扇などのハンズオンとともに楽しく分かりやすく紹介した。	12,223
岐阜県図書館収蔵資料展 古地図にみる世界の広がり ～近世のヨーロッパ・日本人が見た世界・アジア・日本～	10/6 ～ 11/4	岐阜県図書館が収蔵した古地図を、展示公開することとなり、本年度は、その第一回の古地図展が開催された。展示は日本人の描いた日本、ヨーロッパ人が描いた日本など4コーナーから構成され、34点の古地図が紹介された。	11,306
発掘速報展 「いにしへの美濃と飛騨」 主催：（財）岐阜県文化財保護センター	11/17 ～ 12/16	埋蔵文化財の保護活動の一環として、出土遺物を県民に公開するため、この展覧会を企画している。今回は、縄文時代の押型文尖底深鉢や古墳時代の切子玉、耳環、白玉など、平成11・12年度に調査された12遺跡からの出土遺物、約600点が展示された。	4,892
資料紹介展 「わたしの徳山」 ～増山たづ子故郷の記録～	H13 12/23 ～ H14 2/3	当館は、平成12年、増山たづ子氏から同氏が撮影された旧徳山村の記録写真389点の寄贈を受けた。この寄贈資料の一部と展示写真パネルの中に登場する民具等を紹介した。	6,390
日本まんなか共和国博物館交流 事業特別企画 「信長、安土より来る」 安土城考古博物館所蔵品紹介展	H14 2/9 ～ 3/10	交流館の協力により、滋賀県の特徴ある歴史や文化の紹介として、安土城考古博物館の所蔵品の中から、信長、秀吉にかかわる資料や安土桃山時代の歴史資料、安土城跡出土遺物など約50点を展示した。また、県民の協力で安土城の復元資料の一部を展示した。	7,162
特別企画 「春風にのって」 ～高橋尚子選手の記録～	H14 3/21 ～ 4/14	当館は開館記念展に「郷土スポーツ栄光展」を開催し、世界で活躍した当県出身選手の偉業を紹介した。今回は多くの県民の要望に応え、オリンピックマラソン金メダリストの高橋尚子選手の偉業を称え、同選手のさらなる飛躍を目指した姿をとおして、青少年の「であい、夢、感動」を育む機会とした。	2,513 (3月分)
平成13年度新収蔵資料紹介	H14 3/21 ～ 4/14	平成13年度の新収蔵資料を20点紹介した。	2,513 (3月分)
マイミュージアムギャラリー	H13 4/1 ～ H14 3/24	銀鱗の魚皮拓展（4/1～5/6） ～清流の美術品～ 絵と音のファンタジー（6/24～7/29） ～パイプオルガン・歌の絵本～ 地歌舞伎の魅力（9/23～11/4） ～芝居絵と写真の競演～ 楽しい世界の資料紹介展（1/～42/11） ～中近東・アフリカ編～ 織部の詩・水彩の詩（5/13～6/17） ～陶芸と水彩画の作品展～ 石ころたちの動物園（8/1～9/16） ～ストーンベインティングの世界～ 関・春日神社の宝物（11/11～12/24） パッチワークキルト展（2/17～3/24）	—

〔特別展〕 一夏季特別展一

1 展覧会名称

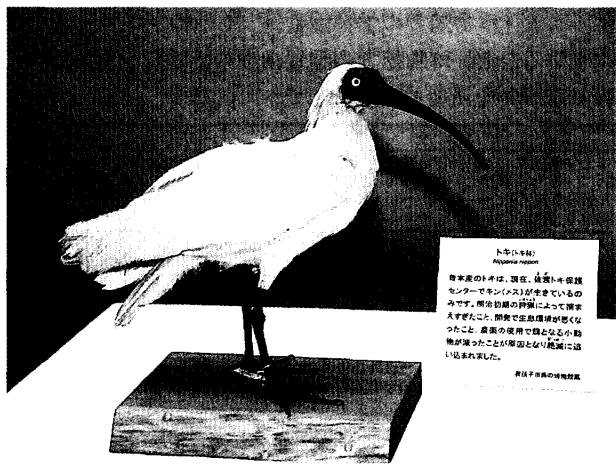
「あのころいた鳥 ～そういえばトキもおったげな～」

2 開催期間

平成 13 年 7 月 20 日（金・祝）～ 9 月 16 日（日）

3 趣旨

博物館では、岐阜市在住の柳原亮一さんから鳥類標本 1521 点の寄贈を受けた。標本は亮一さんの父、要二さんが明治後期から昭和初期に収集したものである。コレクションの多くは折居彪二郎、初山徳太郎など著名な採集人や研究者が採集したもので、中にはすでに見ることができない鳥類の標本も含まれていた。現在、生息地の破壊や外来種の侵入など絶滅の危機にある鳥類が増えている。特別展では、貴重な財産をどのように未来の世代へ伝えるかを考えるきっかけになればと考え、膨大な柳原コレクションの一部を展示し、同時に、日本の絶滅のおそれのある鳥類について紹介した。



4 展示内容

(1) 絶滅のおそれのある鳥

日本では、トキを含めて 14 種の鳥類が絶滅し、121 種が絶滅のおそれがあると考えられている。ここでは、トキ、アホウドリ、ヤンバルクイナ、クマタカなど約 90 種について剥製や写真資料で展示し、これらの鳥類をとりまく状況を紹介した。

(2) 柳原さんが集めた鳥

柳原要二さんが明治から昭和初期にかけて収集した鳥類標本は、息子の亮一さん夫妻によって、完璧な状態で保管されていた。これらの標本のなかには、岐阜ではすでに見ることができないサンカノゴイ（サギのなかま）や

明治から昭和にかけて活躍した動物採集人、折居彪二郎が台湾、旧満州、八重山諸島で採集した歴史的に貴重な資料がたくさん含まれていた。ここでは、柳原コレクションから、当時の博物学の発展に多大な貢献をした折居彪二郎の資料を中心に紹介した。



(3) ふるさとの野鳥

ここでは百年公園で観察されるシジュウカラ、メジロ、ヒヨドリなどの身近な鳥類を紹介した。

(4) その他

- ・ 鳥のからだを調べよう：ここでは、トビ、ハイタカ、オオミズナギドリなどの剥製を手にとり、鳥の翼の形や大きさを比べることができるようにした。また、鳥（アオサギ）とほ乳類（ニホンザル）の骨の重さを比較できるように展示した。
- ・ 世界のライチョウ：内山春雄さんが製作したライチョウのバードカービングや世界のライチョウの剥製にさわることができるように展示した。
- ・ はく製製作過程：はく製はどのように出来上がっているのか。ここでは、剥製師の仕事を紹介した。

5 関連事業

- (1) 鳥見鳥旅探検隊報告会 7/1（日）
- (2) 特別展見学ツアー 7/28（土）
- (3) バードカービング教室 8/4（土）、5（日）
講師：内山春雄（野鳥彫刻家）
- (4) 特別展講演会「なぜタカを守るか」8/26（日）
講師：遠藤公男（動物作家）
日本野鳥の会岐阜県支部後援

―秋季特別展―

1 展覧会名称

「七代目団十郎と国貞、国芳 ～芝居・錦絵・中山道～」

2 開催期間

平成 13 年 9 月 30 日（日）～ 11 月 4 日（日）

3 趣旨

本展覧会は、江戸っ子が支えた様々な文化から歌舞伎と浮世絵の世界を取り上げ、美濃にもゆかりのある事象を中心に構成した。江戸時代後期を代表する歌舞伎役者の七代目市川団十郎は、天保の改革で咎めを受け、江戸を追われた。一時、岐阜の舞台にも立ち、当地で熱狂的な支持を受けたという。また、彼と親交のあった浮世絵師・歌川国貞（後の三代歌川豊国）は、歌舞伎役者と中山道を組み合わせた浮世絵のシリーズを発表し、好評を得、また、彼の弟子に当たる歌川国芳も中山道をテーマにしたシリーズを発表した。

本展覧会では、このような江戸の事物が、美濃とも深いゆかりがあったことを紹介するものであり、江戸と上方のなかほどに位置し、双方の文化が融合した美濃という地域を再認識していただく機会となれば幸いである。

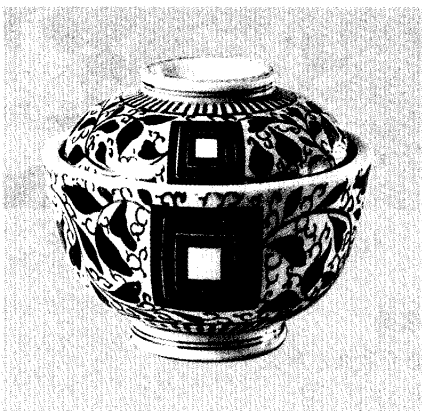
4 展示内容

本展覧会は、大きく 4 つのコーナーから成り、歌舞伎と浮世絵から江戸時代の華やかな文化を偲んでいただけるようにした。

(1) 千両役者・七代目団十郎の世界

江戸時代後期に活躍した七代目団十郎は、助六や東海道四谷怪談など、今に残る名芝居を演じた。江戸追放後は、各地の舞台に立ち、嘉永 3 年（1850）には、岐阜の舞台に立った。これら花形役者を偲ぶ資料を浮世絵や遺愛品を中心に展示した。

- ・歌川国安 東海道四谷怪談浮世絵
- ・歌川国貞 七代目市川団十郎の弁慶 など



七代目市川団十郎遺愛 三升紋蓋付茶碗

(2) 三代歌川豊国（国貞）の木曾六十九駅

七代目団十郎と親交のあった浮世絵師の三代歌川豊国（国貞）の手になる、役者と中山道の宿駅を組み合わせた浮世絵のシリーズを展示した。



三代歌川豊国 木曾六十九駅より日本橋

(3) 歌川国芳の木曾街道六十九次

三代歌川豊国と人気を二分した歌川国芳の描く中山道の浮世絵連作を展示した。

(4) 美濃、地歌舞伎の世界

江戸時代より地元の人々によって演じられる芝居が盛んであった東濃地方に残る歌舞伎絵馬を展示した。

・絵馬 熊谷陣屋図 など

5 関連事業

- ・ 9/30（日） 特別展講演会
「明治時代の岐阜の芝居小屋」
岐阜女子大学地域文化研究所 道下 淳氏
- ・ 10/7（日） 特別展講演会
「市川団十郎と江戸の歌舞伎」
千葉大学名誉教授 服部幸雄氏
- ・ 10/14（日） 博物館講座
「団十郎と浮世絵の世界を訪ねて」
当館学芸員

6 その他

展示室内外において、幅広い年齢層に当展覧会を楽しんで観覧していただけるように歌舞伎手ぬぐいの触察、浮世絵をマイクロスコープで拡大し、その細やかな彫技を見るコーナー、およびデジタルアーカイブ事業により作成した「歌川国芳木曾街道六十九次」の全画像を閲覧できるコーナーなどを設けた。

〔資料紹介展〕

一資料紹介展 1－

1 展覧会名称

「ようこそ 石の世界へ！」

2 開催期間

平成 13 年 4 月 18 日～7 月 8 日（日）

3 趣旨

当館が収蔵する岩石、鉱物・化石などの資料のうち、普段は収蔵庫の中で保管されている魅力的な資料を県民に幅広く公開しようとしたもので、今回は石という範疇をつくり、その範囲での展覧会とした。また、この資料紹介展を通してより一層自然の事象や博物館に親しみを観てもらえるように、触察コーナーや楽しい体験コーナーを設定した。

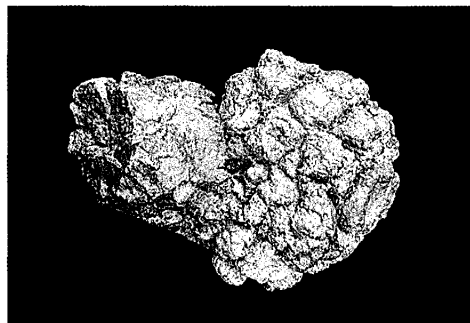
4 展示内容

(1) ふるさとの大地をつくる石

日本最古の化石を産出する酸性凝灰岩をはじめ、岐阜県大地の 4 分の 1 を占めて分布する濃飛流紋岩、世界で一番若い花崗岩である滝谷花崗閃緑岩など、ふるさと岐阜県の大地を構成する主な岩石を展示した。

(2) 日本や世界のいろいろな石

菊花石やさざれ石、つば石など観賞用として珍重されている石、ふん石や菊石などとよばれる化石類、いりどり様々な鉱物などを中心に、魅力的な石を厳選して展示した。



恐竜のふん石



曲がる石・コンニャク石

(3) くらしの中の石

下呂石や黒曜石、那智黒といったくらしの中で道具として使われてきた石、世界から集まる建築用石材、光り輝く魅力的な宝石などを展示した。



展示会場の様子

(4) 見てさわって楽しく遊ぶ体験コーナー

文字が浮きでるテレビ石、文字が二重に見える方解石、食べられる石・岩塩など、数々の楽しい石で遊べるコーナーを設けた。また、大型のアンモナイトや恐竜のふん石などに自由に触れる触察コーナーを設けた。



楽しい石で遊べる体験コーナーの様子



化石や石の触察コーナーの様子

5 関連事業

- ・資料紹介展展示解説ツアー 1

5 月 13 日（日）

- ・資料紹介展展示解説ツアー 2

6 月 10 日（日）

一資料紹介展 2一

1 展覧会名称

「わたしの徳山～増山たづ子^{ふるさと}故郷の記録～」

2 開催期間

平成 13 年 12 月 23 日(日・祝)～平成 14 年 2 月 3 日(日)

3 趣旨

旧徳山村は、徳山ダム建設計画にともない、昭和 62 年 3 月 31 日をもって廃村となり、翌 4 月 1 日に藤橋村に編入された。徳山村の 8 地区で生活していた 466 世帯のすべての方が村を離れなければならなかった。増山たづ子さんもそのおひとりであった。

増山さんは、ご主人と弟さんを太平洋戦争で亡くされた。しかし、増山さんの心の中には、「いつか二人が生きて帰ってくるのではないか」との思いが強くあったそう。そして「もし帰ってきた時、ふるさと徳山がダムになっていたらどう説明していいのか」、「何とか説明できるような記録を残しておきたい」、これが写真を始めた動機だとお聞きした。それは、増山さん 60 歳の頃であった。それから 20 数年。無心にそして猛烈に、村の人々、暮らしや自然を写真に撮り続けてこられた。

平成 12 年 7 月、増山さんが撮影された旧徳山村の記録写真 389 点が、ご本人より当館に寄贈された。本展覧会は、その一部を展示の中心にすえ、徳山村のくらしの様子を紹介するものである。増山さんが見たふるさと徳山を通して、私たち一人ひとりにとってのふるさとを考えてみたいものである。

21 世紀は「共生」の時代だと言われている。人と人、人と自然とが共生を図り、心豊かに生きたいと多くの人々が考えている。増山さんの作品には「共生」のヒントがある。

4 展示内容

(1) 徳山村の四季 42 点

増山さんの眼は徳山の著しい四季の変化を忠実にとらえていた。季節感あふれる写真から、徳山の自然とそこに暮らした人びとの息づかいが聞こえるようであった。

(2) 徳山村に暮らした人びと 21 点

増山さんの写真に登場する村の人びとはいつも生き生きとしていた。こどもからお年寄りまでのたくさんの笑顔があふれていた。

(3) 徳山村の民具 12 点

旧徳山村で使用されていた生活用具、生産用具を並べた。増山さんの写真にも登場し、徳山の人びとの暮らしに深くかわってきただけのものばかりであった。

(4) その他

・マイ・ミュージアム担当の制作したハイビジョン番組

「たづ子ばあちゃんの徳山アルバム」(10 分)をハイビジョンホールで上映した。また、同番組をビデオテープに複写し、来館者がいつでも鑑賞できるようなコーナーを設置した。

- ・特別展示室前のスペースにテレビを設置し、名古屋テレビ制作の「お国のためだもの」(30 分、増山さんの音や映像の収集の過程から、当館への写真等寄贈の様子をドキュメントで追った番組。平成 12 年 12 月、テレビ朝日系列「テレメンタリー 2000」として全国ネットで放送された。)を上映した。
- ・触察コーナーを設け、民具や茅などを並べ、直接、触ってもらった。



展示会場風景

5 関連事業

- ・1 月 6 日(日) 特別行事 映画「ふるさと」上映会
- ・1 月 20 日(日) 博物館講座「ふるさとは心の宝」
講師：増山たづ子さん
- ・1 月 27 日(日) たのしい博物館
「徳山のくらしを体験しよう」
講師：宮川澄雄さん



増山さん講演会場の様子

〔特別企画〕

—日本まんなか共和国博物館交流事業特別企画—

1 展覧会名称

「信長、安土より来る^{きた}

～安土城考古博物館所蔵品紹介展～」

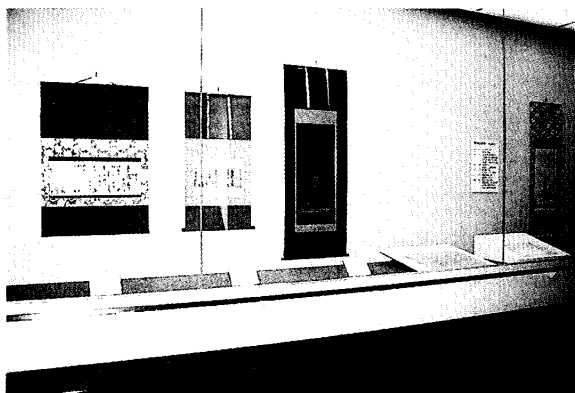
2 開催期間

平成 14 年 2 月 9 日（土）～ 3 月 10 日（日）

3 趣旨

当館は、岐阜県が三重、滋賀、福井の各県と文化面や観光面で協力を推進している「日本まんなか共和国」の一環として、斎宮歴史博物館、滋賀県立安土城考古博物館、福井県立博物館との交流を進めている。このたび、隣県の特色ある歴史や文化の一端を県民に広く紹介し、相互理解を深める一助とするため、交流各館のご理解とご協力のもとに、特別企画として各他の所蔵品を紹介することとし、本年度はその第 1 回として滋賀県立安土城考古博物館の所蔵品紹介展を開催した。

湖国・滋賀県は、岐阜城を足がかりに京都に進出した織田信長が、天下統一にふさわしい城として、壮大な天主をもつ安土城を築いた歴史上重要な地である。本展では滋賀県立博物館所蔵品の中から、信長・秀吉にかかわる資料を中心として安土桃山時代の歴史資料を展示し、あわせて滋賀県安土城郭調査研究所のご協力により安土城跡からの出土遺物を展示して、岐阜県にも関係の深い信長の統一事業とその時代を紹介した。



展示風景

4 展示内容

(1) 近世への胎動 —信長登場—

天下統一を進めた信長の時代は、政治や文化が大きく変化し、近世社会への道が開かれた歴史上の画期である。尾張から美濃へ進出した信長が発給した「天下布武」の朱印状、信長の代表的な伝記である『信長公記』の写本『安土記』、信長に仕えた関出身の刀工・氏房作の脇差、16

世紀にヨーロッパで刊行されたオルテリウスの世界図などを展示し、全体の導入とした。

(2) 戦国末期の情勢

北信濃をめぐる武田信玄と上杉謙信の戦いの状況を描いた川中島合戦図、三好長慶らの台頭による室町幕府の混乱にかかわる六角義賢書状、永禄年中の近江佐和山の状況を描いた彦根界限絵図などにより、信長上洛以前の京都や地方の状況を紹介した。

(3) 信長の戦い —栄光と挫折—

信長によって室町幕府最後の将軍に立てられ、のちに追放された足利義昭の御内書、大坂における本願寺と信長の戦いの状況を描いた石山本願寺合戦図や本願寺 12 世教如の画像、のちに本能寺の変を起こした明智光秀の書状や光秀画像（復元模写）などを展示し、上洛から本能寺の変にいたるまでの信長の戦いをたどった。

(4) 秀吉の時代へ

本能寺の変で信長とともに自害した嫡男・織田信忠の画像、秀吉に協力した二男・織田信雄の判物、豊臣秀吉の書状や朱印状、秀吉と柴田勝家の合戦を記した『志津ヶ岳記』などを展示し、信長の事業を引き継いで天下統一を成し遂げた秀吉のあゆみをたどった。

(5) 安土桃山時代の遺物と記録

安土城跡から出土した金箔瓦や黄瀬戸、小田原の北条氏の沿革を記した『北条五代記』、江戸時代初期に小瀬甫庵によって書かれた『信長記』、『畚入太閤記』などを展示し、同時代資料と後世の資料を紹介した。

5 展示資料数

54 点

6 関連事業

博物館講座 2 月 17 日（日）

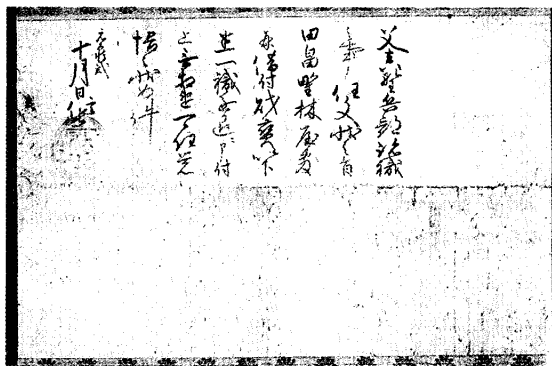
「安土桃山時代の武将たち」

当館学芸員

博物館講座 3 月 3 日（日）

「織田信長と近江」

滋賀県立安土城考古博物館学芸員 高木叙子氏



織田信長朱印状

〔マイミュージアムギャラリー〕

1 運営の概要

県民（在住、在勤、ゆかりの人）が収集・所蔵しているコレクションや生涯学習の成果作品を募集し、一定期間、公開展示の場とする。マイミュージアムギャラリー企画運営委員会によって承認された展示計画に従い、順次展示をしていただく。出展者の募集は常時行っている。

2 平成13年度の展示状況

回	展示期間	出展内容	出展者
1	平成13年 4月1日（日） ～ 5月6日（日）	銀鱗の魚皮拓展 ～清流の美術品～	高木 宜雄 つねお
2	5月13日（日） ～ 6月17日（日）	織部の詩・ 水彩の詩 ～陶芸と水彩画の 作品展～	岡田 孝司 岡田 春海 小原 克朗
3	6月24日（日） ～ 7月29日（日）	絵と音の ファンタジー ～パイプオルガン・歌の絵本～	内間 寅男 安藤佐久子
4	8月1日（水） ～ 9月16日（日）	石ころたちの 動物園 ～ストーンペイン ティングの世界～	阿部いづみ
5	9月23日（祝） ～ 11月4日（日）	地歌舞伎の魅力 ～芝居絵と 写真の競演～	原田 宙 田島 一男 ひろし
6	11月11日（日） ～ 12月24日（振）	関・春日神社の 宝物	金幣社 春日神社
7	平成14年 1月4日（金） ～ 2月11日（祝）	楽しい世界の 資料紹介展 ～中近東・ アフリカ編～	海外日本人 学校派遣岐 阜県教師の 会
8	2月17日（日） ～ 3月24日（日）	パッチワーク キルト展	マザーエム・ キルターズ代表 嶋 道子

3 展示記録「マイ・コレクション」の発行

展示リーフレット「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。平成13年度は7年度からの通番で、第47号から第54号まで発行した。

4 出展者による解説・講演・実演等の開催

来館者に対して、出展者による展示解説、映画会、教室、実演を以下のように開催した。

○第1回「銀鱗の魚皮拓展」

・出展者講演会「動物は私の先生」

日時 平成13年5月5日（土・祝）午後2時～

場所 マイ・ミュージアム3階 ハイビジョンホール

講師 高木 宜雄さん
つねお



○第2回「織部の詩・水彩の詩」

・陶芸教室「茶碗をつくろう」

日時 6月3日（日） 午前10:00～・午後1:30～

講師 岡田 孝司・春海さん 場所 本館研修室

○第3回「絵と音のファンタジー」

・「歌の絵本コンサート」

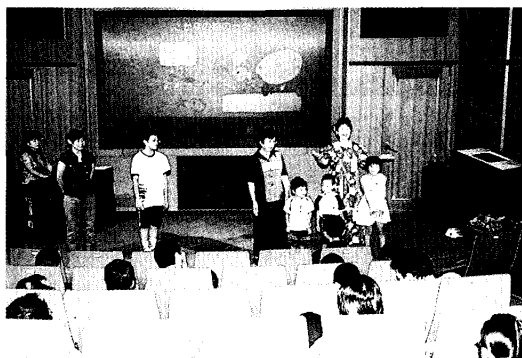
日時 7月22日（日） 午後2時～3時

メゾソプラノ独唱 貞平純子さん（可児市）

伴奏 伊藤千枝子さん（可児市）

場所 マイ・ミュージアム3階 ハイビジョンホール

出展作品を実際のコンサート形式で紹介する、今までにない内容のある企画で、大変好評だった



○第4回「石ころたちの動物園」

・ストーンペインティング教室「動物を描こう」

日時 8月26日（日） 午前10:00～ 午後1:00～

講師 阿部いづみさん 場所 本館講堂

○第5回「地歌舞伎の魅力」

・「押し限体験」

日時 10月28日（日） 午後1:30～

顔師 原田 宙さん 場所 本館研修室



出展者で顔師の原田さんに、実際の地歌舞伎の現場で役者さんに施される歌舞伎特有の化粧をしていただくイベントを行い、3名の来館者に体験していただいた。

○第8回「パッチワークキルト展」

・パッチワークキルト教室

①セルティックバッグ

日時 2月17日（日） 午前 10:30 ～

②さくら巾着

日時 3月 7日（木） 午後 1:30 ～

③ハートのポーチ

日時 3月14日（木） 午後 1:30 ～

④オーガンジーロマンティックポーチ

日時 3月20日（水） 午後 1:30 ～

講師 マザーエム・キルターズの皆さん

場所 本館講堂



各展示において、出展者自らが積極的に会場内で展示解説を行った。出展者は来館されるたびに展示内容の見所などの解説をし、来館者との交流も深まった。

来館者からも、出展者ならではの話が聞けて大変有意義だったという感想を聞いた。各出展者も、来館者の質問や意見などを聞いて大変勉強になったり、視野も広まったり、同好者も増えたりと好評だった。

5 博物館同人としての登録

出展者は博物館同人とし、8名と3団体に同人登録証を発行した。

6 平成13年度の出展申し込み

欧州の散策写真作品、そば猪口コレクション、播隆上人名号碑の拓本作品、飛騨一刀彫作品、陶磁器コレクション、明治期の史法コレクション、創作人形作品、押し花・山の幸染作品、デコパージュ・エッグアート作品、ウッドバーニングアート作品、海外日本人学校帰国教師の会の海外コレクション、など、県内各地から計11件の申し込みがあった。バラエティに富んだ生涯学習の作品の申し込みが増えている。

7 マイミュージアムギャラリー企画運営委員会

○期日 10月11日 ○場所 本館会議室

○議題

①これまでの展示の経過と課題について

・従来多かった個人コレクションに加えて、生涯学習の作

品や団体からの出展が多くなってきた。魚皮拓の展示で始まり、出展者自らが「動物は私の先生」と題して講演が行った。「絵と音のファンタジー」はギャラリー初の子ども作品展ということで、マスコミの注目を集め、子ども連れの来館者に好評だった。また、展示内容をもとにハイビジョンの静止画番組を制作し、期間中上映したり、その映像を使い、またプロの音楽家による作品の歌を歌うコンサートも開催できて、多彩なギャラリーの催し物となった。「石ころたちの動物園」は老若男女すべての来館者に好評で、展示リーフレットも500部増刷しても足りないほどだった。期間中、ハイビジョン静止画番組の作品を制作し、ハイビジョンホールで上映した。「地歌舞伎の魅力」では特別展との相乗効果で来館者に楽しんでいただいた。また、歌舞伎の化粧体験ができるユニークな企画を催した。（抄録）

・今回の内容で報告したように、すでに数多くの催しものが開催できて、来館者到大変好評を博している。特に、ハイビジョン静止画番組の作品を展示内容に合わせて制作、上映できたことはこれまでにないことであった。

・平成13年度の出展者の出身地も、飛騨方面も2名あり、県内各地からの出展でバランスがとれている。

②平成14年度展示計画及び今後の課題について

・関市を含め、まだまだ様々なコレクションをお持ちの方が多いため、どんどん調査する必要がある。

・展示のタイミングが大切であるので、状況に応じてタイムリーな展示ができるような努力を望みたい。

○委員の構成

	氏 名	役 職
委員	糸魚川淳二	名古屋大学名誉教授
〃	岩田 伸雄	会社会長
〃	遠藤 祐神	前岐阜県博物館長
〃	加藤 郁子	岐阜県地域婦人会連合会会長
〃	後藤 昭夫	岐阜県市長会代表
〃	田中 幸雄	岐阜県町村会長
〃	辻 欣一	岐阜県社会教育委員連絡協議会長
〃	玉田 和浩	岐阜県議会教育警察委員長
〃	船戸 政一	関市教育委員会教育長
〃	松本 五三	岐阜県博物館協会理事長
〃	吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長
〃	渡辺 文雄	岐阜県公民館連合会長

会長は吉田豊氏、副会長は松本五三氏が継続就任。

〔岐阜県図書館収蔵資料展〕

1 展覧会名称

「古地図に見る世界の広がり

ー近世ヨーロッパ人・日本人が見た世界・アジア・日本ー」

2 開催期間

平成 13 年 10 月 6 日（土）～ 11 月 4 日（日）

3 主催

岐阜県図書館・岐阜県博物館

（岐阜県図書館世界分布図センター職員と展示計画

時より打ち合わせを重ね、展示作業・撤収作業な

ども協力して行った。）

4 趣旨

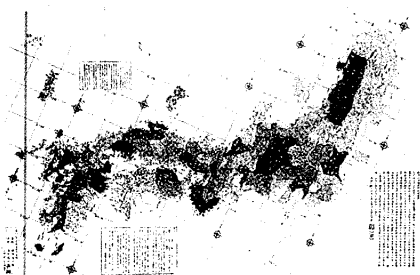
岐阜県図書館では、平成 13 年度から約 1 万 2 千点に及ぶ古地図（山下和正コレクション）を購入することとなり、この活用を図るため同館分布図センターが継続的に展示する計画を立てた。本年度が第 1 年目であり、テーマを「古地図に見る世界の広がりー近世のヨーロッパ人・日本人が見た世界・アジア・日本ー」と決め、当館で展示することになった。

最近、伊能忠敬が江戸時代中期に作製した日本地図がアメリカで発見されたり、「伊能ウォーク」が実施されたりと、伊能忠敬や江戸時代の古地図などへの関心が高まっている。このような状況の中で、江戸時代（近世）の日本人が鎖国体制の下、どのような日本観や世界観を持っていたのか。また、マルコポーロの『東方見聞録』に触発され、東洋に大きな憧憬を持ちつつ大航海の時代を経てアジアに進出してきた同時代のヨーロッパ人が、どのような世界観を持ち、どのような地図を頼りに航海に出たのか。これらのことを古地図により推し量り、日本人とヨーロッパ人とのものの見方の違いや共通点を探ることは大変有意義であると考えた。

5 展示内容

(1) 日本人が描いた日本

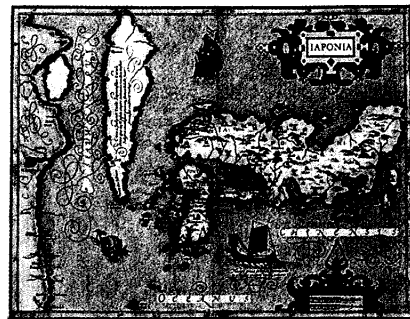
石川流宣作の「大日本国大絵図」（1728 年）をはじめとして、江戸時代後期に作製されたものを中心に、日本人が描いた日本地図を展示した。



改正日本輿地路程全図 長久保赤水（1811 年）

(2) ヨーロッパ人が描いた日本

江戸時代初期から幕末までの頃のヨーロッパ人が描いた日本地図を展示した。伊能忠敬の実測図をもとにしたシーボルト作製の日本図が登場するまでは、いずれも実測図ではなかった。

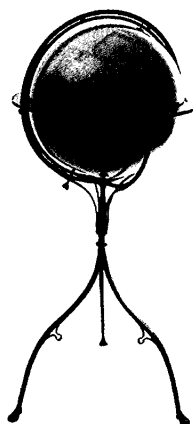


日本図 ホンディウス（1606 年）

(3) ヨーロッパ人が描いた世界・アジア

マルティン・ベハイムの地球儀（1492 年、複製）や、江戸時代から昭和初年にかけて描かれた主に「アジア図」を展示した。

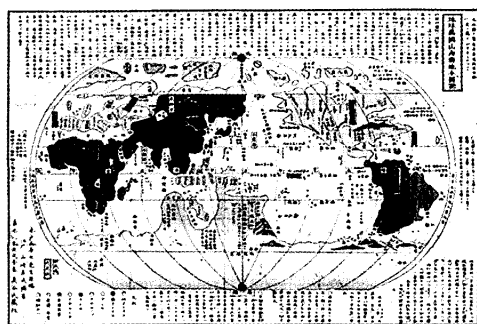
17 世紀になっても東アジア、特に日本や朝鮮はかなり不正確なまま描かれていた。



マルティン・ベハイムの地球儀（1492 年、複製）

(4) 日本人が描いた世界・アジア

水戸藩儒者長久保赤水の「改正地球万国全図」（1785 年）など、江戸時代に作製された木版刷りの大きなサイズの地図に手彩色が施されたものを中心に展示した。江戸中期までは、仏教の伝統的世界観に基づく須弥山（しゅみせん）を中心とした世界図が多かった。



地球万国山海輿地全図説 長久保赤水（1850 年）

6 展示資料数

34 点

〔(財) 岐阜県文化財保護センター速報展〕

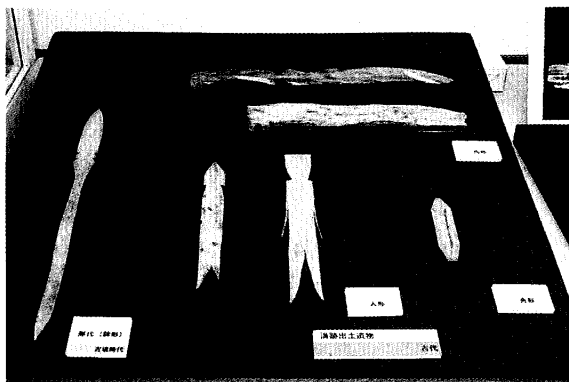
いにしへの美濃と飛騨

平成 13 年 11 月 17 日（土）～ 12 月 16 日（日）

（財）岐阜県文化財保護センターでは、県内各地において埋蔵文化財の発掘調査を実施しており、現地での説明会のほか埋蔵文化財の普及啓発の一環として毎年速報展を開催し、その成果を広く県民に公開している。昨年度は同センター設立 10 周年にちなんで特別展示も行った。同センターの発掘事業は、本県の考古学に貴重な資料を提供しており、一般への普及の場として、今後とも速報展の果たす役割には大きなものがある。

本年度の展示では、平成 11 年度および 12 年度に調査した 12 か所の遺跡をとりあげて出土遺物を展示し、豊かにいにしへの郷土の文化を紹介した。

主催は（財）岐阜県文化財保護センターであり、当館は、岐阜県教育委員会とともに共催という立場で、おもに教育普及面で協力を行った。



柿田遺跡出土の木製形代

1 展示構成

飛騨地方の 2 遺跡、美濃地方の 10 遺跡を、飛騨・可茂・中濃・西濃地域の順に展示し、実物に触って学べるよう灰釉陶器と古代寺院の瓦を触察展示した。

- ①太江遺跡・寿楽寺廃寺跡（古川町、古代）
- ②上ヶ平遺跡（下呂町、縄文時代早期・古墳時代～古代）
- ③富田清友遺跡（美濃加茂市、縄文時代早期・中世）
- ④野笹遺跡・赤池 4 号古墳（美濃加茂市、縄文時代晩期～古代）
- ⑤大平前遺跡（関市、古代）
- ⑥柿田遺跡（可児市、弥生時代中期～中世）
- ⑦深橋前遺跡・深橋前古窯他（関市、弥生時代末～古墳時代初頭・古墳時代・古代）
- ⑧後平遺跡・後平茶臼古墳他（富加町、弥生時代後期・古墳時代）
- ⑨高畑遺跡（池田町、弥生時代～古墳時代・古代）
- ⑩中山道（関ヶ原町、近世）

⑪徳山陣屋跡（藤橋村、中世・近世）

⑫前山 2 号古墳・杉ヶ洞 3・5 号古墳（可児市、古墳時代後期）

2 主な展示内容

(1) 縄文～古墳時代の遺跡

上ヶ平遺跡および富田清友遺跡では、縄文早期の押型文のある尖底深鉢と石器類、柿田遺跡では、弥生中期から古墳時代にかけての各種の土器と石器類、深橋前遺跡では、弥生時代末～古墳時代初頭の斜面上の住居跡から出土した土器、筒状銅製品、および古墳時代の土坑墓で棺として用いられた土師器、須恵器を展示した。後平茶臼古墳では、埴輪や馬具等、前山 2 号古墳・杉ヶ洞 3・5 号古墳では、土師器・須恵器等の副葬品を展示した。

(2) 古代以降の遺跡

柿田遺跡では、古代の須恵器や中世の陶磁器類のほか、古代の被にかかわる人形・馬形・舟形などの木製形代、中世の屋敷跡から出土した「仁王會」木簡等を展示した。太江遺跡および寿楽寺廃寺跡では、各種の瓦のほか「高家寺」の墨書や「寺」の刻書のある須恵器、野笹遺跡では墨書須恵器、深橋前遺跡では古代の火葬墓から出土した鉸具や須恵器、深橋前古窯跡では、各種の灰釉陶器や窯道具、高畑遺跡では、古代寺院にかかわる三釉陶器片や浄瓶、瓦類、中山道では近世陶磁器、徳山陣屋跡では、中世～近世の陶磁器類や銭貨を展示した。

3 展示資料数

約 600 点（他に触察資料 20 点）

4 関連事業

記念講演会 11 月 25 日（日）

「水と人の歴史

－弥生時代～中世の水利をめぐって－」

国際日本文化研究センター教授 宇野隆夫氏



高畑遺跡出土の浄瓶等

〔調査研究・資料収集活動〕

ー自然部門ー

1 調査研究

<植物分野>

(1) 山菜・キノコの植物調査及び資料収集

宮村を中心にして飛騨地方の代表的な山菜・キノコの分布調査を行った。

特別展示の資料として、できるだけ標本を採集したが、個体数が極端に少ない種に限っては、採集しないでスライド等の二次資料にとどめた。

○山菜関係

アケビ（アケビ科）*Akebia quinata*

ワサビ（アブラナ科）*Eutrema japonica*

ナンテンハギ（マメ科）*Vicia unijuga*

サンショウ（ミカン科）*Zanthoxylum piperitum*

ケンボナシ（クロウメモドキ科）*Hovenia dulcis*

ヤマブドウ（ブドウ科）*Vitis coignetiae*

ヒシ（ヒシ科）*Trapa japonica*

○キノコ関係



クリタケ（モエギタケ科）*Naematoloma sublateralitum*



シヨウゲンジ（フウセンタケ科）*Rozites caperata*

スメリイグチ（イグチ科）*Suillus luteus*

キイロイグチ（イグチ科）*Pulveroboletus viridis*

カンバタケ（サルノコシカケ科）*Piptoporus betulinus*

ホコリタケ（ホコリタケ科）*Lycoperdon hiemale*

シロナメツムタケ（モエギタケ科）*Pholiota lenta*

クリフウセンタケ（フウセンタケ科）*Cortinarius tenuipes*

(2) レプリカ作製のための調査

飛騨地方で一般的に食されている代表的な山菜・キノコの生態の様子を特別展示で再現するために、標本採集だけでなく、形態等細部を調べた。

○山菜関係

ヤマブキショウマ（バラ科）、ソバナ（キキョウ科）

ヨブスマソウ（キク科）、ハンゴンソウ（キク科）

モミジガサ（キク科）、アマドコロ（ユリ科）

ニシノヤマタイミンガサ（キク科）、ウド（ウコギ科）

ミヤマイラクサ（イラクサ科）、ハリギリ（ウコギ科）

イタドリ（タデ科）、ワラビ（コバノイシカグマ科）

タラノキ（ウコギ科）、タカノツメ（ウコギ科）

クサソテツ（メシダ科）

○キノコ関係

〔ムラサキアブラシメジモドキ（フウセンタケ科）、ヤマドリダケモドキ（イグチ科）、アカヤマドリ（イグチ科）〕

〔ウラベニホテイシメジ（イッポンシメジ科）〕

〔クロカワ（イボタケ科）〕〔シモフリシメジ（キシメジ科）〕

〔サンゴハリタケ（ハリタケ科）〕

〔コガネタケ（ハラタケ科）、カラカサタケ（ハラタケ科）〕

<動物分野>

(1) チョウ類のルートセンサス

関市小屋屋百年公園内で、中島和典氏（博物館サポーター）とチョウ類のルートセンサスを行った。調査期間は4月から11月までとし、月2回、可能な限り快晴で無風の日に調査を実施した。調査ルートは、アカマツ林、コナラやアベマキを中心とした雑木林、草原など多様な環境が含まれるよう留意し、設定した。

今年度の調査では、41種448個体のチョウ類が記録された。

・アゲハチョウ科

5種53個体（11.8%）が記録され、1999年度の28個体（5.8%）と2000年度の31個体（7.0%）に比べ、アゲハチョウ科の個体数は多かった。今年度はギフチョウが多く記録され、1999年度と2000年度に比べ、個体数が多かった。



ギフチョウ（アゲハチョウ科）*Luedorfia japonica*

・シジミチョウ科

12 種 86 個体 (19.2%) が記録され、1999 年度の 46 個体 (9.5%) と 2000 年度の 49 個体 (11.0%) に比べ、シジミチョウ科の個体数は多かった。

今年度はコツバメが多く記録され、1999 年度と 2000 年度に比べ、個体数が多かった。

・ジャノメチョウ科

5 種 95 個体 (21.2%) が記録され、1999 年度の 212 個体 (43.7%) と 2000 年度の 159 個体 (35.8%) に比べ、ジャノメチョウ科の個体数は少なかった。

・シロチョウ科

4 種 67 個体 (15.0%) が記録され、シロチョウ科の個体数は 1999 年度と 2000 年度のそれとほぼ同じであった。

・タテハチョウ科

7 種 57 個体 (12.7%) が記録され、タテハチョウ科の個体数は 1999 年度と 2000 年度のそれとほぼ同じであった。

・その他

今年度、テングチョウ科は 1 種 33 個体 (7.4%)、マダラチョウ科は 1 種 1 個体 (0.2%) が記録された。



ヒオドシチョウ (タテハチョウ科)

Nymphalis xanthomelas

個体数が多かった種は、キチョウ (シロチョウ科) の 57 個体で、続いてコツバメ (シジミチョウ科) の 37 個体、テングチョウ (テングチョウ科) の 33 個体、サトキマダラヒカゲ (ジャノメチョウ科) の 27 個体、ヒメウラナミジャノメ (ジャノメチョウ科) の 25 個体であった。

生息環境との関わり、本調査地のチョウ類群集の解析は、今後、別の機会に公表する。

(2) 柳原コレクション

国内に保存されている長興鼎、初山徳太郎、折居彪二郎採集の鳥類標本について、北海道大学、国立科学博物館、東京大学、京都大学、兵庫県立人と自然の博物館などで、これらの所在の確認を行った。来年度は、長興鼎採集の鳥類標本について調査する予定である。

〈地学分野〉

(1) 『温泉展』の調査研究

平成 14 年度開催予定の特別展『温泉展』に関する調査研究を行った。

① 県内の温泉のバイオマットの調査

温泉水中に生息する微生物 (バクテリアや藻類など) の集合体によって形成されるバイオマット (生物皮膜) について、県内の温泉における生息の実態調査を行った。

平湯温泉では、源泉付近および引湯された温泉の給湯口付近において頻繁にバイオマットの存在が確認され、記録した。特に、特定の源泉に由来する温泉水において、泉温等の条件の違いにより色の異なるバイオマットが生息するのが確認された。この他、濁河温泉、新穂高温泉においてもバイオマットを確認することができた。現在確認されたバイオマットを形成している微生物を同定している。



② 温泉沈殿物の調査

県内の温泉において温泉沈殿物の生成状況を調査し、採集を行った。平湯温泉、一重ヶ根温泉、新穂高温泉においては石灰華を、濁河温泉やその他の温泉において褐鉄華や硫黄華などを採集することができた。

③ 温泉で生成される鉱物の調査

国指定特別天然記念物の北投石をはじめ、玉滴石、? 状珪華など現在採集不可能な温泉によって生成される鉱物について、秋田大学鉱業博物館、奇石博物館、富山市科学文化センター、中津川市鉱物博物館などで所在と標本の確認を行った。

④ 泉質の特徴的な温泉の調査

塩分濃度日本一の有馬温泉、日本一アルカリ性の強い生津温泉、強酸性泉の草津温泉など泉質の特徴的な温泉について、湧出状況や泉質、沈殿物等の調査を行った。

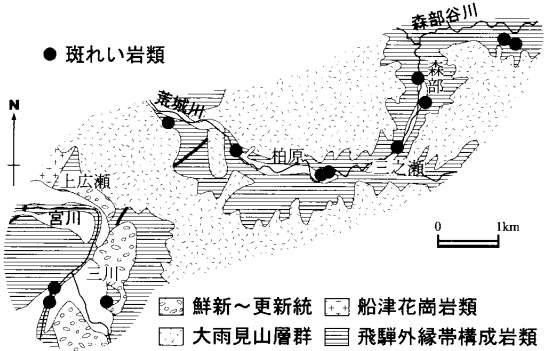
⑤ 間欠泉と噴泉の調査

日本一の高さを誇る上諏訪温泉の間欠泉や、常時勢いよくお湯を噴きあげる地獄谷温泉の噴泉を調査し、写真撮影を行った。

以上の調査結果を『温泉展』の展示に活用する。

(2) 高山市北方の飛騨外縁帯斑れい岩類の調査

岐阜県高山市北方に分布する飛騨外縁帯堆積岩類には斑れい岩類が貫入している。そこで、岐阜県高山市松本町～吉城郡国府町上広瀬～大野郡丹生川村森部にかけての飛騨外縁帯構成岩類の分布地域を調査した。今回の調査で調査地域の広い範囲にわたって貫入していることが確認された。斑れい岩類は小さなもので幅約1m、大きなものでも幅数 10m 以内の小規模な貫入岩体として産する。ほとんどのものは中～細粒角閃石斑れい岩ないしドレライトであるが、一つの岩体だけは中粒の角閃石普通輝石斑れい岩であることが明らかとなった。

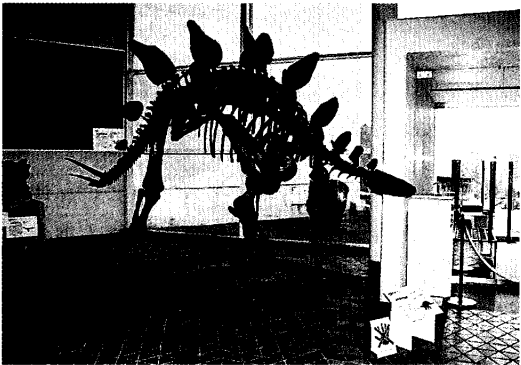


高山市北方の飛騨外縁帯斑れい岩類の分布

2 資料数一覧

(平成 14 年 3 月 31 日現在)

分 野	館			蔵		借 用	寄 託	館蔵 借用 合計 寄託
	実 物	複 製	自作等 その他	館蔵数 合 計	() 寄贈内数			
動 物	33,227	16	133	33,376	(18,812)	0	0	33,376
植 物	24,206	74	190	24,470	(9,607)	0	0	24,470
岩石鉱物	2,088	5	73	2,166	(545)	18	0	2,184
化 石	1,986	48	24	2,058	(1,079)	48	28	2,134
そ の 他	63	22	168	253	(21)	0	0	253
計	61,570	165	588	62,323	(30,064)	66	28	62,417



ステゴサウルス全身骨格（複製）



バードカービング（ライチョウ夏毛・冬毛）

平成 13 年度用

3 資料寄贈者芳名一覧（敬・順不同）

資 料 名	点 数	芳 名	資 料 数	点 数	芳 名
ミゾゴイ	1	桑原 久男	飛騨地方の山野草関連資料 (奥原豊一氏資料)	4 式	古川十代子
クログミ	1	村井 敏郎	西南地区植物標本	400	清水 義之
イヌワシ	1	広瀬 高孝	御岳山麓植物標本	180	広田 艶子
アジアコブラ	1	今井 裕史	可児市産植物標本	1200	後藤 常明
アライグマ	1	野々目徳弘	各務原市産植物標本	400	村瀬 正成
アオジ	1	織戸満紀雄	美並村産植物標本	451	鳥居 進
ハクビシン	1	佐橋 正典	根尾村産植物標本	60	古田 之予・大沢 律子
オオコノハズク	1	上野富貴夫	方解石	1	澤谷 史郎
アオゲラ	1	和田 勝志			荒木 忠

4 購入資料一覧

資 料 名	点 数	購 入 先	資 料 名	点 数	購 入 先
バードカービング	3	内山春雄	鳥類剥製 等	25	内田科学社
カタクリ群落ジオラマ	1	岩崎総合研究所	ほ乳類剥製	8	内田科学社
ステゴサウルス	1	ゼネラルサイエンス	温泉湧出模型 等	4	岩崎総合研究所

一 人文部門一

1 調査研究

<考古分野>

○日本まんなか共和国博物館交流事業特別企画に係わる調査・研究

平成 13 年度の「信長、安土より来る～安土城考古博物館所蔵品紹介展～」のため、滋賀県立安土城考古博物館の指導・協力を受けながら同館所蔵品の調査を実施し、紹介展を行った。また、平成 14 年度の「よみがえる幻の宮～斎宮歴史博物館所蔵品紹介展～」に向けて、三重県立斎宮歴史博物館の指導・協力を受けながら展示資料を検討した。

○岐阜県の文化－美濃飛騨の比較研究－

（財）岐阜県文化財保護センター等によって発掘調査された県内の遺跡や出土遺物について調査を実施した。なお、今年度より常設展示室の前に（財）岐阜県文化財保護センターの展示コーナーを設け、同センターの発掘調査による出土遺物を紹介することとした。半年ごとに展示替えを行い、遺跡や遺物を順次紹介していく予定である。

<歴史分野>

○平成 14 年度秋季特別展「中山道」展に係わる調査研究
美術工芸担当と協力して、中山道に関係する資料の調査・研究を行った。歴史分野では、中山道美濃十六宿の本陣・脇本陣・茶屋などを中心に、和宮や伊能忠敬らの美濃通行に関して、今も残されている資料の確認や聞き取り調査を行った。

○岐阜県の文化に係わる調査・研究

昨年度寄贈を受けた関市下^{しもうち}有知の後藤玄吉家の資料（主として近世後期～明治期）の整理・研究を進めている。

今年度は、主に書籍類（主に和本）の整理を行った。医学・薬学・理学・文学など多岐に渡っており、貴重なものも多く、全体像が明確になり次第、今後の展示活動にも活かしていくことができるものと考えている。

また、平成 14 年度の資料紹介展「近世ふるさとの文人たち－石田コレクションより－」に向けて、資料の検討を行うと共に、梁川星巖や江馬細香などの人物や、彼らを輩出した大垣の文化的土壌などに関する調査・研究を行った。

<民俗分野>

○平成 13 年度資料紹介展「わたしの徳山～増山たづ子^{ふるさと}故郷の記録～」に係わる調査研究

①徳山村の四季

②徳山村に暮らした人びと

③徳山村の民具

についての文献資料調査及び、旧徳山村出身の村民か

らの聞き取り調査などを実施し、資料紹介展として展示した。また、研究の成果の一部を『岐阜県博物館調査研究報告書第 23 号』で発表した。

○「旧徳山村民家」屋根葺き替え工事

「旧徳山村民家」は、昭和 62 年 10 月、徳山ダム建設により失われる徳山村の文化遺産保存事業の一環として、旧所有者の宮川澄雄様から家屋の提供を受け、移築・復元されたものであるが、移築後 14 年の歳月が立ち、屋根の茅の傷みが目立ってきた。そこで、貴重な文化遺産を後世に残すため、本年度、茅の一部差し替え工事（8/1～9/30）を行った。工事期間中の 8 月 19 日（日）には「見学会」を開き、来館者に工事の様子を公開した。

○岐阜県の昭和時代に関する調査研究

昭和 30 年代を中心とした岐阜県の様子を調べるため、資料の収集及び調査活動を行った。

<美術工芸分野>

○平成 13 年度特別展「七代目団十郎と国貞、国芳」開催に関わる調査研究

美濃にもゆかりの深い、江戸時代後期の歌舞伎役者・七代目市川団十郎の美濃での足跡について調査を行った。あわせて各地に所蔵される、江戸時代後期の歌舞伎役者を描いた錦絵を調査した。それらの成果は 13 年度秋季特別展に反映させることができた。

○岐阜県の文化に係わる調査研究

本年度、美濃飛騨に縁のある近世近代書画および陶磁器などを含む個人コレクションの寄託を受けた。このコレクションには、美濃の文人画を代表する村瀬秋水や村瀬太乙、江馬細香をはじめ喜田華堂や田中大秀の作品を中心に、郷土にゆかりある人々の作品を含んでおり、それらは近世における郷土文化のレベルの高さを偲ぶにふさわしい作品である。今後、常設展示において随時公開していく予定である。

○平成 14 年度秋季特別展「中山道」展に係わる調査研究

平成 14 年は、徳川家康が中山道に伝馬制度を制定して 400 年になることを記念して、中山道にちなむ資料の調査と研究を行った。特に美術部門では椿椿山「山海奇賞図稿本」、大雅堂義亮「濃州観音巖真景図」など江戸時代に美濃の中山道を訪れた画家たちによって描き留められた作品を調査することができた。これらは平成 14 年度秋季特別展「中山道」展に出陳していただけるように所蔵者と交渉を行っている。

2 資料数一覧

分野	実物	複製	自作・他	館蔵計（内寄贈数）	借用	寄託	総計
考古	2,046	164	52	2,262（1,850）	497	187	2,946
歴史	1,554	34	122	1,710（1,494）	20	163	1,893
民俗	2,856	1	0	2,857（2,853）	247	114	3,218
美術工芸	618	17	0	635（192）	263	2,086	2,984
計	7,074	216	174	7,464（6,389）	1,027	2,550	11,041

3 資料寄贈者芳名一覧

資料名	点数	芳名
世界新地図	1	富士製作所
日本鳥獣図	1	〃
ヤマハ S 型オルガン	1	長尾 とし
陶製ボタン	1	梅村 五月
足袋	4	〃
硬貨	72	〃
紙幣	58	〃
雛人形「親王妃」	1	今井 義人
関製刃物製品等	207	渡辺 俊哉
ドラゴン電気蓄音機	1	小林 巖
放送局型 123 号受信機	1	〃
国民受信機	2	〃
東芝テレビ 19 S M	1	〃
東芝テレビ 16 R K - T	1	〃
大八車	1	柳原 亮一
とおし	1	〃
唐さお	1	〃
えぶり	1	〃
炬燵	1	〃
猫炬燵	2	〃
行火（安全炬燵）	1	〃
はんぞう	1	〃
高札	1	〃
陶製水筒	1	安田 博人
紙衣ベスト	1	三輪 芳明
磁石式交換台	1	西日本電信電話株式会社 岐阜支店
磁石式電話機	2	〃
オシ	1	宮川 澄雄
ワラグツ	2	横田志ず子
笠松湊の敷き石	1	宮崎 惇
戦前の地球儀	1	古川 司朗
戦前の地図	4	〃
帝国服制要覧	1	〃

4 館蔵資料購入作品一覧

資料名	点数	作者名
美濃彫 牡丹に獅子図鐺	1	
美濃彫 秋草に螭螂鈴虫図鐺	1	
美濃彫 秋草図鐺	1	
美濃彫 萩菊図鐺	1	
木曾六十九駅 中津川	1	三代歌川豊国
市川海老蔵遺言の口上	1	
岐阜市街大地震之図	1	梅翁
愛知県岐阜県震災義捐金一覧表	1	香朝楼
東山道八ヶ国	1	歌川広重
富山版画 白真弓肥太衛門	1	国美
蓮生問答	1	三代歌川豊国
人物画卷	1	喜田華堂
閑田耕筆	4	伴蒿蹊
月に薄図花瓶	1	加藤五輔
小学教育大日本名所図会 養老瀧	1	三代歌川広重
大日本物産双六	1	三代歌川広重
谷汲山華嚴寺山内図	1	
御悦禮御行列役人附	1	
日本ライン名所図絵	1	吉田初三郎
番付 大相撲	1	
美濃青墓宿円願寺略縁起並古跡	1	・

ーマイ・ミュージアム部門ー

1 ハイビジョンホール及びスタジオの活用

ハイビジョンホールでは、博物館制作のマルチメディアソフト「ハイパーハイビジョン風土記」の紹介やハイビジョン映像の定期上映・博物館講座会場としての利用のほか、外部団体の見学や講習会・イベントなども積極的に受け入れ、そのサポートをしながら多様な活用を図った。

- ・風土記・環境映像・映画・衛星放送・手作り番組等のハイビジョン上映
- ・博物館講座・たのしい博物館
- ・特別展「あのころいた鳥」開場式
- ・幼稚園・小学校の課外研修
- ・資料紹介展関連の映画会、音楽会
- ・その他 各種研修会、講演会

ハイビジョン映像の上映では、夏休み・春休みの期間中、借用ソフト「世界の自然遺産 屋久島」「世界文化遺産・原爆ドーム 甦れ！ありし日々」「大山ゼフィルスの森 ミドリシジミチョウ舞うブナ原生林」等を上映し、親子を中心とした来館者に楽しんでいただいた。また、1月7日には、資料紹介展「わたしの徳山」の関連で映画「ふるさと」を上映した。

マルチメディアスタジオでは、20 台のレファレンス装置を運用し、常時風土記映像の閲覧ができるよう整備している。今年度は関市の小中学校の体験学習の一環で、地元の産業や文化を調べる手段として、多くのクラスの児童・生徒の活用があった。

2 遠隔授業



- ・高山市立東小学校 第3学年2組、3組
平成13年11月20日（火）10：00～11：00
 - ・坂内村立坂内小学校 第5、6学年
平成14年2月26日（火）10：40～11：25
- 開始から3年連続で、テレビ電話による遠隔授業を、本年は2校と実施した。

東小学校は「昔のくらし」という単元で、当館青木学芸員が指導者となって、昔の歌や遊び、道具などを紹介した。坂内小学校は当館の特別企画「信長安土より来たる」に合わせ、その概要説明とともに、織田信長に関して児童からの質問に早川学芸員が答える形式で展開した。

来年度はさらに対応が増えることが予想されるので、

ソフト、ハードを整えながらこうした対応を今後も継続していきたい。

3 デジタルアーカイブ

昨年度に引き続き、県商工労働部産業情報課所管の地域情報文化育成事業の採択を受けて、当館の所蔵資料のデジタル化を行った。この事業は、後生に継承する必要のある地域固有の文化遺産、伝統芸能等をデジタル化して保存するデジタルアーカイブを推進することにより地域文化を振興し、地域の情報文化産業の育成を図るもので、3年間継続される。

以下が、今年度デジタル化したものの概要である。

	資料数	カット数	備考
考 古	5	11	静止画像
歴 史	26	82	静止画像
民 俗	86	195	静止画像
	1	5	立体画像
美術工芸	20	51	静止画像
動 物	41	41	静止画像
	1	8	立体画像
岩 石	36	36	静止画像
植 物	23	23	静止画像
合 計	239	452	

今年度は昨年度の成果を活用し、特別展会場において浮世絵画像を来館者が自由に閲覧できるようにした。

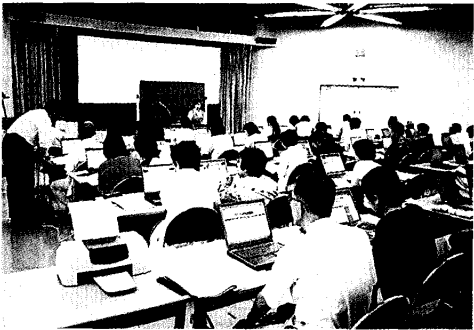
4 I T 基礎技能講習

今年度は総務省の「情報通信技術講習推進特例交付金」を受けて、全国で I T 基礎技能講習が展開された。

当館においても岐阜県の実施する講習の会場のひとつとして、昨年度整備されたパソコンを利用した講習が計16回（延べ34日）実施した。1講座は、パソコンの基礎操作、ワープロ文書の作成、インターネットの利用、

電子メールの送受信の合計で12時間の内容で、当館では2日間（視覚障害者向けは3日間）で開催した。

指導にはマイ・ミュージアム担当職員および県で一括募集した情報ボランティア、またはパソコンスクール等の専門業者があたった。交通アクセスが悪い場所にかかわらず多くの参加希望者が集まり、抽選により受講者を決定していった。高齢者や女性の受講者が目立ち、関心の高さが伺えた。



5 マルチメディア工房・ぎふ

岐阜県の情場づくりの一環で「マルチメディア工房・ぎふ」の第1号が平成7年10月1日に当館内にオープンした。以来、県民のマルチメディアソフト制作支援の場として一般に開放している。

(1) 工房の利用について

サポーターの協力を得て以下の活動を行った。

- ① 高校生対象のハイビジョンマルチメディア制作講座を5～9月に計5回開催し、高校生7名（関商工高）が参加し、作品の制作に取り組んだ。
- ② マイミュージアムギャラリー関連の静止画作品を制作した。
- ③ 旧徳山村の写真家、増山たづ子氏より寄贈していただいたネガフィルムのデジタルデータ化に、前年度より継続して取り組んだ。

(2) ソフトコンテストについて

- ① 平成13年11月2日第9回全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001のコンテストが大垣市情報工房スィンクホールを会場に開催された。当館からはマイミュージアムギャラリー関連の「石ころたちの動物園」、「くぬぎの森の野外コンサート」、資料紹介展関連の「たづ子ばあちゃんの徳山アルバム」を出品した。審査の結果「石ころたちの動物園」がグランプリを受賞した
(大会出品総数24作品、受賞7作品)



- ② 平成14年2月3日第6回「マルチメディア工房・ぎふ」について

ソフトコンテストが未来会館で実施された。当館からは関商工高制作の「現代版ももたろう」を出品した。審査の結果、努力賞を受賞した。

(大会出品総数69作品、優秀賞2作品、奨励賞8作品)



6 たのしい博物館

マルチメディア関連として「マルチメディアで調べよう 恐竜の世界」「マルチメディアで調べよう 化石の世界」等、4回開催した。化石や恐竜等子供たちに人気のある内容の場合は参加者も多かった。

インターネット関連として、親子と女性を対象にして様々なホームページを探索しインターネットのコンテンツを楽しむ内容で各1回ずつ開催した。本年度から新しいコンピュータで、1人1台でできるようにしたので、参加者もストレスなく参加できた。

7 博物館講座

ホームページ制作講座：応募者が相変わらず多数で関心の高さを感じた。昨年に続き10名で始め、本年度はフリーソフトを導入したが、3回連続で継続が難しい参加者も数人あった。実際にホームページの立ち上げを目標とされた参加者も4名を越えた。

平成13年度マルチメディア工房制作番組一覧表

番組名	時間	内容等
①石ころたちの動物園	10'00"	石ころに彩色したミニチュアの動物作品を紹介。 (全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001 グランプリ受賞)
②くぬぎの森の野外コンサート	10'00"	音楽教室の生徒が絵と曲と詩が一体となった作品を物語り風に紹介。 関商工高生徒 ももたろうが受験戦争に打ち勝っていく物語をアニメーションで紹介。
③現代版 ももたろう	3'55"	(第6回マルチメディア工房・ぎふソフトコンテスト 努力賞受賞)

〔教育普及活動〕

1 概要

今日、学校と社会教育機関としての博物館が一体となって児童・生徒の生きる力の育成に当たる必要性が唱えられている。そんな中、本年度は、学校と博物館のかかわりを密にするための在り方を明確にし、「岐阜県博物館活用の手引き」を作成するとともに、博物館利用の学校に対し、より一層の学習効果をもたらすよう努めた。もう一方では、岐阜県博物館が生涯学習の場として、幼児から高齢者までの活用に資するとともに、休日での児童・生徒の活用に資するため、催しものの量を増やすとともに工夫に力を入れた。

なお、主な本年度の事業は、特別展（2回）、資料紹介展（2回）、日本まんが共和国博物館交流事業による特別企画（1回）、（財）岐阜県文化財保護センター主催の特別企画（1回）岐阜県図書館主催の特別企画（1回）、マイミュージアムギャラリー展示（8回）の他、特別行事・講演会・講座・自然観察会など年間76回の催しものを実施した。その他、ギャラリー出展者の自主事業（8回）やIT基礎技能講習会（16回）の実施により、総事業数は115回を数えた。

2 教育活動

(1) 催しもの

催しものは、講演会（4回）、博物館講座（17回）、自然観察会（2回）、たのしい博物館（42回）、特別行事（11回）など計76回であった。

今年度の催しものの主な活動概要は次の通りである。

体験学習を多くしたが、どれも人気を博した。「恐竜ナイトツアー」（2回）は予約1日目の15分で定員に達するほどの人気であった。

講演会も関心と呼び、増山たづ子さんによる「ふるさと心宝」と安土城考古博物館学芸員による「織田信長」は、定員130名をはるかに越え、それぞれ236名、202名と大盛況であった。

今年度実施したIT基礎技能講習会は、どの回も応募者が多く、抽選で受講者を決定したほどであった。

特別行事「グリーンアドベンチャー」・「響け！和太鼓」・「写生大会」・「七草がゆを食べよう」は、いずれも参加者が多く、岐阜県博物館の特色ある事業として欠かせない。

一昨年度から開催の岐阜県教育委員会等主催の「岐阜県児童生徒科学作品展中央展」に併せ、「社会科課題追究学習作品展」も開催され、多くの参観を得た。

(2) 入館者対応（展示解説・案内）

特別展・資料紹介展等の特別企画については、展示解説を積極的に行い、入館者に好評を博した。

特に、特別展「あのころいた鳥」・「七代目団十郎と国貞、国芳」では、担当者を中心に積極的に会場に顔を出し、必要に応じて解説を実施した。

常設展示については、解説員が毎日2回定期的に、解説するスタイルが確立できた。今後、解説メニューの増加、ガイドツアーの実施が望まれる。

案内についても、力を入れた。入館した方が館内をス

ムーズに活用できるように、昨年度から本館2階のカウンターに解説員が常駐するようにしたが、本年度は、定着してきた。また、教育普及担当を中心に職員が館内をまわり、入館者への挨拶・案内を積極的に行った。

こうした試みは、入館者アンケートの内容にも反映され、入館者の方に好評であった。全国の主要69博物館参加の「顧客満足度調査」（特定非営利活動法人ビュー・コミュニケーションズにより2001.10実施）においても、当館の解説の充実度は69館中、第3位であり、当館の特色としていくことができると考える。サービス機関として、いっそうの入館者へのサービスに努めたい。

(3) 学校等の活用

本年度は、関市の「小・中学校の博物館学習のためのバス借り上げ事業」や学校の博物館とのかかわりを重視しようとする学校の増加により、学校の博物館利用回数は202回を数えた。内訳は、幼稚園（19）、小学校（141）、中学校（24）、高校（8）、大学（3）、その他（7）であった。

特徴的なこととして、関市内が68回、岐阜地区が49回、愛知県内が43回と利用度が高い。また、総合的な学習の時間として22校が活用し、事前の打ち合わせが綿密になってきた。

参考までに、出前授業の実施回数が8回（うち、化石レプリカ作りー5、総合的な学習の時間として2）、テレビ会議が2回であった。

学校以外の団体利用も多く、100団体を数えた。

特徴的なこととして、社会福祉関係・障害関係が24、学校教育関係が20であった。また、老人大学等熟年層の利用も増加してきており、まさに生涯学習の場として活用されていることが伺われる。

3 広報活動

より多くの方に、博物館に親しんでいただくためには、展示や催しものの周知を図ることが重要である。そのため、昨年度までと同様、以下のことに力を注いだ。

ア 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミに対して情報提供を積極的に行った。

イ 人が多く集まる施設にポスター・チラシの掲出依頼を積極的に行った。

ウ 児童・生徒に合ったチラシ・案内文書を作成し、関市内及び近隣の学校に配布した。

エ 校長会・教頭会・PTA・研究部会等の会合に、文書等により、博物館利用案内を働きかけた。

オ 関市自治会員用チラシ・案内文書回覧を積極活用した。

4 博物館実習生指導

7月30日（月）から8月3日（金）までの5日間、東海女子大学（9名）・岐阜女子大学（2名）・三重大学（1名）・筑波大学（1名）・茨城大学（1名）・滋賀県立大学（1名）・愛知淑徳大学（2名）・金城学院大学（1名）・名城大学（4名）・皇学館大学（2名）の10大学から24名の学生を受け入れ、実習生指導を学芸部職員全員で行った。実習生が充実した実習体験をすることができるよう、職員一同努めた。

5 資料の貸し出し

分野	機 関 名	資 料 名	期 間 (年月日)	点 数
白	岐阜農林高等学校	ウシ・ウマの頭骨	H13・4・7～H13・5・6	2
	(株) フラッグシップ	動物スライド	H13・4・27～H13・5・27	24
	岐阜市立中島中学校	タヌキ等の頭骨	H13・4・29～H13・5・13	3
	岐阜市立伊奈波中学校	動物骨格標本	H13・6・8～H13・6・13	5
	美濃加茂市民ミュージアム	写真ネガ、スライド 等	H13・6・14～H13・6・27	29
	多治見市立平和中学校	動物頭骨	H13・6・25～H13・7・12	11
	花フェスタ記念公園	木片、木の音を楽しむ道具 等	H13・6・25～H13・8・14	30
	美濃加茂市民ミュージアム	カブトムシ模型、展示台	H13・6・27～H13・9・9	16
	園部文化博物館 (兵庫県)	鉱物	H13・7・9～H13・9・28	26
	豊橋自然史博物館	ホンダタヌキ、ウサギ等剥製	H13・7・10～H13・9・20	6
	岐阜町歴史民俗資料館	鉱物	H13・7・19～H13・8・3	15
	各務原市立那加第二小学校	動物スライド	H13・8・3～H13・9・3	11
	エコミュージアム関ヶ原	マムシ剥製 等	H13・8・8～H13・8・18	4
	(有) ムック	ツキノワグマ写真	H13・8・13～H13・9・10	2
	(株) ムー	動物足跡スライド	H13・8・14～H13・9・30	5
然	我孫子市島の博物館	剥製制作手順資料	H13・9・6～H13・9・30	7
	たじみ自然展実行委員会	化石、剥製	H13・9・29～H13・10・13	39
	笠松町歴史民俗資料館	ウマの剥製・頭骨 等	H13・12・25～H14・2・22	3
	福井県立恐竜博物館	植物化石	H14・1・10～H15・1・10	8
	関市立緑ヶ丘中学校	アンモナイト、サンヨウチュウ等化石	H14・1・28～H14・2・8	82
	サイエンスワールド	タンポポスライド	H14・2・7～H13・9・3	3
	さとやま作り推進協議会	ニホンリススライド	H14・2・22～H14・3・8	1
	群馬県立歴史博物館	駅鈴 (複製)	H13・9・20～H13・12・10	2
	土岐市美濃陶磁歴史館	鳴海織部角鉢 等	H13・10・19～H13・12・21	6
	岐阜市歴史博物館	刀銘兼元 等	H13・10・19～H13・11・30	11
	岐阜市歴史博物館	刀剣鍛錬工程	H13・10・19～H13・11・30	1 式
	関市教育委員会	伴高蹊で『近世畸人傳』	H13・11・14～H13・12・14	5 冊
	岐阜県歴史資料館	牧野英一使用眼鏡・タイプライター・鞆 等	H13・12・4～H13・12・18	7
	岐阜市ハートフルスクエア G 平和資料室	大礼服	H14・1・26～H14・3・31	1 式
	虎溪山 永保寺	法華経写経	H14・3・1～H14・3・31	27

6 図書資料

平成 13 年度末現在の図書資料数は、下記の通りである。

	図書資料数 (平成 14 年 3 月 20 日現在)	備考
人 文 関 係	14, 647	含刀剣文庫
自 然 関 係	10, 798	含棚橋文庫・熊田文庫
総 計	25, 445	

7 平成 13 年度刊行物一覧

名 称	発行年月日	判、頁	部 数	備 考
岐阜県博物館だより 第 74 号	13. 4. 1	A4 4 頁	2, 500	友の会増刷 (350)
岐阜県博物館だより 第 75 号	13. 7. 1	A4 4 頁	2, 500	友の会増刷 (350)
岐阜県博物館だより 第 76 号	13. 10. 1	A4 4 頁	2, 500	友の会増刷 (350)
岐阜県博物館報 第 24 号	13. 4. 1	A4 35 頁	1, 200	
平成 13 年度 岐阜県博物館催しもの案内 (A2 判)	13. 4. 1	A2	2, 500	
平成 13 年度 岐阜県博物館催しもの案内 (A4 判)	13. 4. 1	A4 3 ッ折	60, 000	
岐阜県博物館活用の手引き	14. 3. 22	A4 113 頁	3, 000	
太陽光発電の案内	14. 3. 31	A4	5, 000	
マルチメディア工房の手引き	14. 3. 31	A4 3 ッ折	10, 000	
岐阜県博物館調査研究報告, Vol.23	14. 3. 31	A468 頁	700	
特別展図録 あのころいた鳥～柳原さんが集めた鳥～ あのころいた鳥～絶滅のおそれのある鳥～ 七代目団十郎と国貞、国芳～芝居・錦絵・中山道～	13. 7. 20 13. 7. 20 13. 9. 30	A4 72 頁 A4 32 頁 A4 64 頁	600 300 620	友の会増刷 (1,000) (700) (1, 000)
特別展図録の増刷 飛騨の匠 輪中と治水	13. 7. 10 13. 8. 2	B5 65 頁 B5 49 頁	0 0	友の会増刷 (1,000) (1,000)
特別展等のポスター・ちらし あのころいた鳥～そういえばトキがおったげな～ ポスター あのころいた鳥～そういえばトキがおったげな～ ちらし 七代目団十郎と国貞、国芳～芝居・錦絵・中山道～ ポスター 七代目団十郎と国貞、国芳～芝居・錦絵・中山道～ ちらし	13. 6. 4 13. 6. 4 13. 8. 31 13. 8. 31	B2 A4 B2 A4	2, 800 55, 000 2, 600 50, 000	
資料紹介展・特別企画のポスター・ちらし ようこそ 石の世界へ！ ポスター ようこそ 石の世界へ！ ちらし わたしの徳山～増山たづ子故郷の記録～ ポスター わたしの徳山～増山たづ子故郷の記録～ ちらし 信長、安土より来る～安土城考古博物館所蔵品紹介展～ ポスター 信長、安土より来る～安土城考古博物館所蔵品紹介展～ ちらし 信長、安土より来る～安土城考古博物館所蔵品紹介展～ リーフレット 春風にのって～高橋尚子選手の活躍～ ポスター 春風にのって～高橋尚子選手の活躍～ ちらし	13. 4. 13. 4. 13. 11. 20 13. 11. 20 14. 1. 29 14. 1. 29 14. 1. 29 14. 3. 8 14. 3. 8	B2 A4 B2 A4 B2 A4 A4 4 頁 B2 A4	1, 200 25, 000 700 22, 000 2, 000 22, 000 5, 000 2, 200 27, 000	
マイ・ミュージアム刊行物 マイ・コレクション第 47 号 マイ・コレクション第 48 号 マイ・コレクション第 49 号 マイ・コレクション第 50 号 マイ・コレクション第 51 号 マイ・コレクション第 52 号 マイ・コレクション第 53 号 マイ・コレクション第 54 号 マイミュージアムギャラリー ポスター マイミュージアムギャラリー ちらし マイミュージアムギャラリー DM ハガキ	13. 4. 2 13. 5. 12 13. 6. 23 13. 8. 10 13. 9. 22 13. 11. 10 14. 1. 4 14. 2. 16 13. 4. 1 13. 4. 1 13. 4. 1	A4 4 頁 A4 4 頁 A4 4 頁 A4 4 頁 A4 4 頁 A4 4 頁 A4 4 頁 A4 4 頁 B2 A4 ハガキ	1, 000 1, 000 1, 000 1, 000 1, 000 1, 000 1, 000 1, 000 1, 000 10, 000 10, 000	500 増刷 2, 000 増刷

8 平成 13 年度の催しもの結果一覧

事業名	期 日	対 象	定員	内 容		参加人員
特別展講演会	8/26	一般	130	なぜタカを守るか動物	作家 沼道公男さん	169
	9/30	一般	130	明治時代の岐阜の芝居小屋	岐阜女子大学地域文化研究所 道下 淳さん	45
特別展講演会 文化講演会	10/7	一般	130	市川団十郎と江戸の歌舞伎	千葉大学名誉教授 服部幸雄さん	80
特別行事講演会	10/21	一般	130	化石ゼミナール 2 講演会「美濃地方の山の生い立ち」	岐阜大学教授 小嶋 智さん	57
記念講演会	11/25	一般	130	水と人の歴史 弥生時代～中世の水利をめぐる	国際日本文化研究センター教授 宇野隆夫さん	111
博物館講座	5/20	一般	130	温泉入門 1		111
	5/26	高校生以上	8	ハイビジョン番組制作講座 ①		6
	6/23	高校生以上	8	ハイビジョン番組制作講座 ②		6
	7/1	一般	40	鳥見鳥旅探検隊報告会		18
	7/22	高校生以上	8	ハイビジョン番組制作講座 ③		4
	8/25	高校生以上	8	ハイビジョン番組制作講座 ④		5
	9/8	高校生以上	8	ハイビジョン番組制作講座 ⑤		5
	9/23	一般	130	温泉入門 2		90
	10/14	一般	130	団十郎と浮世絵の世界を訪ねて		61
	1/13	高校生以上	10	ホームページ制作講座 ①		10
	1/20	一般	130	ふるさとほ心の宝	増山たづ子さん	236
	2/3	高校生以上	10	ホームページ制作講座 ②		9
	2/17	一般	130	安土桃山時代の武将たち		152
	2/24	高校生以上	10	ホームページ制作講座 ③		6
	3/3	一般	130	織田信長と近江	安土城考古博物館学芸員 高木叙子さん	202
3/10	一般	130	I T の現状と未来		21	
3/17	一般	130	旧家から掘り出された宝物			
自然観察会	4/8	一般	20	百年公園のバードウォッチング 1		21
	2/10	一般	20	百年公園のバードウォッチング 2	塚原博良さん	17
たのしい博物館	4/15	一般	20	自然の達人と春の里山で遊ぼう	中田宇元さん	21
	4/28	一般	40	マルチメディアで調べよう ふるさと岐阜		52
	5/3	一般	25	上笛をつくろう		57
	5/4	一般		クイズで探検！博物館 1		383
	5/13	親子	30	資料紹介展見学ツアー 1～石や化石を学ぼう～		65
	5/27	一般	40	化石をつくろう		46
	6/3	一般	40	陶芸教室～茶碗をつくろう～	陶芸家 岡田孝司・春海さん	32
	6/10	親子	30	資料紹介展見学ツアー 2～石や化石を学ぼう～		41
	6/24	一般	40	竹細工～竹で「輪挿し」をつくろう～	竹細工師 石原文雄さん	50
	7/8	一般	40	パンフラワー教室 1	薔薇工房代表 木村喜美恵さん	70
	7/15	小学生以上	40	楽しいインターネットの世界		23
	7/21	小学生以上	80	恐竜ナイトツアー 1（夜の博物館探検・7/22 10:00 終了）		104
	7/28	親子	30	特別展見学ツアー		17
	7/29	親子	40	竹でおもちゃをつくろう	竹細工師 石原文雄さん	43
	8/4	一般	40	バードカービング教室 1	野鳥彫刻家 内山春雄さん	32
	8/5	一般	40	バードカービング教室 2	野鳥彫刻家 内山春雄さん	40
	8/11	小学生以上	80	恐竜ナイトツアー 2（夜の博物館探検・8/12 10:00 終了）		82
	8/12	一般	20	自然の達人と夏の里山で遊ぼう	中田宇元さん	16
	8/15	親子	30	親子で学ぶ博物館 1～博物館ガイドツアー～		16
	8/17	一般	30	長良川の川原の石の観察会（長良橋付近）		22
	8/18	一般	40	マルチメディアで調べよう 化石の世界		36
	8/19	一般	30	火起こし器をつくろう		24
	9/2	一般	40	マルチメディアで調べよう 鳥の世界		31
	9/9	女性	40	インターネットで広がるライフ情報		13
	9/22	一般	40	クイズで探検！博物館 2		56
	10/21	一般	40	山の幸あれ～アイロンで染め物をつくろう～	芳賀正子さん	38
	11/11	親子	40	森の造形教室～森にすむ動物をつくろう～	造形作家 水野政雄さん	41
	8/12	一般	20	自然の達人と秋の里山で遊ぼう	中田宇元さん	18
	11/23	親子	30	親子で学ぶ博物館 2～博物館ガイドツアー～		21
	11/24	一般	40	マルチメディアで調べよう 恐竜の世界		69
	12/9	一般	40	和風をつくろう	竹細工師 石原文雄さん	44
	12/16	一般	40	わら細工～正月の飾りをつくろう～	わら細工師 山口嘉蔵さん	44
	12/23	一般	40	花もちをつくろう	飛騨ファームランド代表 北村隆嗣さん	76
	1/5	一般	20	七草ウォッチング		12
	1/13	一般	20	自然の達人と冬の里山で遊ぼう	中田宇元さん	12
	1/14	一般	40	パンフラワー教室 2	薔薇工房代表 木村喜美恵さん	56
	1/26	親子	40	昔のくらしを体験しよう 1		56
	1/27	一般	200	徳山のくらしを体験しよう	宮川澄雄さん	259
	2/3	親子	40	昔のくらしを体験しよう 2		38
	3/9	親子	30	親子で学ぶ博物館 3～博物館ガイドツアー～		22
	3/24	一般	20	自然の達人と早春の里山で遊ぼう	中田宇元さん	
	3/31	一般		クイズで探検！博物館 3		
特 別 行 事	4/29	一般	300	グリーンアドベンチャー 1		459
	5/5	一般		響け！和太鼓	麗澤瑞浪高等学校太鼓部のみなさん	453
	5/6	一般	300	グリーンアドベンチャー 2		380
	8/2	親子		タイムスリップ探検隊 8/3 15:00 終了		44
	8/19	一般		旧徳山村民家の屋根の葺きかえ見学会		384
	9/15	一般	40	化石ゼミナール 1～恐竜時代の化石観察バスツアー～（福井県立恐竜博物館）		45
	10/28	一般	30	化石ゼミナール 3～化石を見つけよう～		27
	11/3	一般	400	百年公園・博物館を写生しよう（注 途中雨のため翌日も実施）		349
	11/4	一般		百年公園・博物館を写生しよう		101
	11/4	一般	40	化石ゼミナール 4～日本最古の石と放散虫化石の観察バスツアー～（七宗町）		37
1/7	一般	400	七草がゆを食べよう		270	
事業名	実 施 期 間			主 な 内 容		観覧人員
春休み ハイビジョン特別番組の上映	4 月 1 日（日）～ 8 日（日）			アラジンの大冒険、ドナルド大好き等を上映		980
夏休み ハイビジョン特別番組の上映	7 月 20 日（金）～ 8 月 31 日（金）			世界の自然遺産 屋久島、世界文化遺産 原爆ドーム、大山ゼ フィルスの森等を上映		9,479

〔図書資料寄贈者芳名一覧〕

[平成 13 年 3 月 1 日～
平成 14 年 2 月 28 日]（順位不同）

〔博物館関係〕

国立歴史民俗博物館
東京国立博物館
国立科学博物館
科学技術館
国立科学博物館附属自然教育園
京都国立博物館
国立民族学博物館
飛鳥資料館
北海道開拓の村
北海道開拓記念館
北海道立北方民族博物館
小樽市博物館
釧路市立博物館
苫小牧市博物館
斜里町立知床博物館
市立函館博物館
旭川市立博物館
札幌市豊平川さけ科学館
足寄動物化石博物館
根室市博物館開設準備室
上士幌町ひがし大雪博物館
浦幌町立博物館
中川町郷土資料館
三笠市立博物館
穂別町立博物館
利尻町立博物館
青森県立郷土館
八戸市博物館
みちのく北方漁船博物館
岩手県立博物館
北上市立鬼の館
農業科学博物館
仙台市博物館
仙台市科学館
仙台市富沢遺跡保存館
斎藤報恩会自然史博物館
仙台市歴史民俗資料館
東北歴史博物館
地底の森ミュージアム
秋田県立博物館
山形県立博物館
致道博物館
県立うきたむ風上記の丘考古資料館
福島県立博物館
福島県歴史資料館
茨城県立歴史館
茨城県自然博物館
土浦市立博物館
日立市郷土博物館
ミュージアムパーク茨城県自然博物館
栃木県立博物館
小山市立博物館
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
栃木県立なす風上記の丘資料館
群馬県立歴史博物館
群馬県立自然史博物館

富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
さいたま市立補和博物館
埼玉県立博物館
埼玉県立歴史資料館
埼玉県立さきたま資料館
戸田市立郷土博物館
さいたま川の博物館
入間市博物館
埼玉県立自然史博物館
千葉県立中央博物館
我孫子市鳥の博物館
市立市川自然博物館
千葉市加曽利貝塚博物館
千葉県立現代産業科学館
千葉県立上総博物館
千葉県立総南博物館
千葉県立安房博物館
千葉県立房総のむら
千葉県立関宿城博物館
千葉市美術館
伊能忠敬記念館
八千代市立郷土博物館
憲政記念館
足立区立郷土博物館
板橋区立郷土資料館
大田区立郷土博物館
紙の博物館
たばこと塩の博物館
東京都江戸東京博物館
宮内庁書陵部
宮内庁三の丸尚蔵館
宮内庁正倉院事務所
町田市立博物館
世田谷区立郷土資料館
福生市郷土資料室
家具の博物館
豊島区立郷土資料館
北区飛鳥山博物館
久米美術館
港区立港郷土資料館
サントリー美術館
江戸東京たてもの園
調布市郷土博物館
府中市郷土の森博物館
文京ふるさと歴史館
東京都高尾自然科学博物館
バルテノン多摩
昭和館
府中市美術館
神奈川県立歴史博物館
神奈川県立金沢文庫
馬の博物館
横浜市歴史博物館
海洋科学技術センター
小田原市郷土文化館
川崎市市民ミュージアム
川崎市立日本民家園
神奈川県立生命の星・地球博物館
平塚市博物館
山口蓬春記念館

秦野市立松土手古墳展示館
鎌倉国宝館
茅ヶ崎市文化資料館
横須賀市自然人文博物館
相模原市立博物館
山梨県立科学館
上田市立信濃国分寺資料館
松本市立博物館
長野市立博物館
長野県立歴史館
須坂市立博物館
さらしなの里歴史資料館
真田宝物館
飯田市美術博物館
飯田市郷土考古博物館
山と博物館
市立岡谷蚕糸博物館
一茶記念館
信濃町立野尻湖ナウマンゾウ博物館
信州新町化石博物館
柏崎市立博物館
長岡市立科学博物館
新潟県立歴史博物館
富山県中央植物園
富山市郷土博物館
富山市科学文化センター
魚津水族館
富山県立立山博物館
富山市売薬資料館
富山県水墨美術館
立山カルデラ砂防博物館
石川県立歴史博物館
石川県立美術館
石川県輪島漆芸美術館
鴨池観察館
のと海洋ふれあいセンター
松任市立中川一政記念美術館
福井県立恐竜博物館
福井市立若狭歴史民俗資料館
福井県立博物館
福井市自然史博物館
織田町歴史資料館
敦賀市立博物館
高浜町郷土資料館
静岡県立美術館
上原仏教美術振興財団
沼津歴史民俗資料館
沼津市明治史料館
焼津市歴史民俗資料館
富士市立博物館
浜松市博物館
浜松市楽器博物館
愛知県美術館
愛知芸術文化センター
徳川美術館
熱田神宮宝物館
名古屋市博物館
名古屋市蓬左文庫
名古屋市立市政資料館
名古屋市科学館

名古屋市美術館
でんきの科学館
名古屋市見晴台考古資料館
一宮市博物館
博物館明治村
リトルワールド
瀬戸市歴史民俗資料館
日本モンキーセンター
愛知県陶磁資料館
豊田市郷土資料館
豊田市美術館
豊橋市美術博物館
豊橋市自然史博物館
豊橋市地下資源館
岡崎市郷土資料館
岡崎市美術博物館
安城市歴史博物館
知立市歴史民俗資料館
常滑市民俗資料館
半田市立博物館
桜ヶ丘ミュージアム
尾西市歴史民俗資料館
碧南市青少年海の科学館
トヨタ博物館
鳳来町立鳳来寺山自然科学博物館
大口町歴史民俗資料館
産業技術記念館
三重県立博物館
御在所自然科学博物館・日本カモシカセンター
四日市市立博物館
海の博物館
神宮徴古館農業館
藤原岳自然科学館
桑名市博物館
鳥羽水族館
斎宮歴史博物館
大津市歴史博物館
滋賀県立琵琶湖博物館
彦根城博物館
滋賀県立安土城考古博物館
滋賀県立陶芸の森
野洲町立歴史民俗資料館
市長浜城歴史博物館
伊吹山文化資料館
栗東歴史民俗博物館
細身美術館
京都府立総合資料館
京都文化博物館
園部文化博物館
博物館さがの人の家
京都府立丹後郷土資料館
大阪市立博物館
大阪市立美術館
大阪市立科学館
大阪市立自然史博物館
大阪人権博物館
吹田市立博物館
大阪府立弥生文化博物館
柏原市立歴史資料館
岸和田市立郷土資料館

東大飯市立郷土博物館	佐賀県立美術館	〔役所関係〕	厚木市教育委員会
大阪府立近つ飛鳥博物館	佐賀県立名護屋城博物館	青森県環境生活部県史編さん室	藤沢市教育委員会
大阪府立狭山池博物館	長崎県立美術博物館	文部科学省大臣官房	山梨県教育委員会
大飯市立住まいのミュージアム	熊本県立美術館	日本財団	予矢都市教育委員会
神戸市立博物館	熊本市立熊本博物館	文部科学省	福井県教育委員会
神戸市立小磯記念美術館	御船町恐竜博物館	文化庁	岡崎市教育局委員会
兵庫県立歴史博物館	大分県立歴史博物館	環境省自然環境局生物多様センター	豊橋市教育委員会
(財)辰馬考古資料館	大分県立先哲史料館	日本科学技術振興財団	常滑市教育委員会
日本玩具博物館	宮崎県総合博物館	科学技術振興事業団	江南市教育委員会
姫路市立水族館	みやざき歴史文化館	科学技術広報財団	小牧市教育委員会
龍野市立歴史文化資料館	鹿児島県立博物館	河川環境管理財団	犬山市教育委員会
明石市文化博物館	鹿児島市立美術館	宇宙開発事業団	春日井市教育委員会
明石市立天文科学館	鹿児島県歴史資料センター黎明館	愛知県県史編さん室	津市教育委員会
尼崎歴史博物館準備室	ミュージアム知覧	名古屋植物防疫所	四日市市教育委員会
兵庫県立人と自然の博物館	沖縄県立博物館	名古屋城管理事務所	日野町教育委員会
大和文華館	名護博物館	国土交通省中部地方建設局	多度町教育委員会
県立橿原考古学研究所附属博物館	那覇市立壺屋焼物博物館	中部森林管理局名古屋分局	滋賀県教育委員会
橿原市千塚資料館	久米島自然文化センター	木曾川下流工事事務所	京都市教育委員会
奈良県立民俗博物館	岐阜県県博物館	大坂市ゆとりとみどり振興局公園整備課	京田辺町教育委員会
奈良県立美術館	岐阜県県歴史資料館	土木研究所自然共生研究センター	大阪市教育委員会
奈良県立万葉文化館	岐阜県美術館	岐阜県自然環境森林課	橿原市教育委員会
尼崎市立文化財収蔵庫	岐阜県図書館	岐阜県社会教育文化課	泉佐野市教育委員会
和歌山県立博物館	岐阜県陶磁資料館	岐阜県地域県民部	能勢町教育委員会
和歌山県立自然博物館	岐阜市歴史博物館	岐阜県農業技術研究所	姫路市教育委員会
鳥取県立博物館	岐阜市科学館	岐阜県保健環境研究所	福岡県教育委員会
渡辺美術館	笠松町歴史民俗資料館	岐阜県県史編集室	久留米市教育委員会
岡山県立美術館	大垣市立図書館	岐阜県淡水魚研究所	勝本町教育委員会
岡山県立博物館	各務原市歴史民俗資料館	岐阜県広報センター	岐阜県教育委員会
岡山県立古備路郷土館	内藤記念くすり博物館	花の都さぶ推進センター	羽島郡四町教育委員会
津山洋学資料館	森の文化博物館	岐阜県産業経済振興センター	各務原市教育委員会
倉敷市立自然史博物館	河川環境楽園	岐阜県生涯学習センター	大垣市教育委員会
広島市安佐動物公園	タリイピアセンター	岐阜県総合教育センター	上之保村教育委員会
広島県立美術館	美濃和紙の里会館	岐阜市文化センター	関市教育委員会
広島県立歴史博物館	海津町歴史民俗資料館	多治見市史編んさ室	池田町教育委員会
広島県歴史民俗資料館	揖斐川町歴史民俗資料館	岐阜市教育文化振興事業団	可見市教育委員会
日本はきもの博物館・郷土玩具博物館	可見郷土歴史館	大垣市文化事業団	富加町教育委員会
広島市森林公園昆虫館	みのかも文化の森/市民ミュージアム	飛騨教育事務所	多治見市教育委員会
しんいち歴史民俗博物館	こども陶器博物館	高富町役場	上岐市教育委員会
下関市立考古博物館	瑞浪市化石博物館	藤橋村役場	恵那市教育委員会
山口県立山口博物館	瑞浪市陶磁資料館	可見市役所	中津川市教育委員会
防府市青少年科学館	瑞浪市民図書館	平田町役場	高山市教育委員会
美祢市歴史民俗資料館	土岐市美濃陶磁歴史館	関市役所	古川町教育委員会
秋吉台科学博物館	中山道みたけ館	土岐市役所	神岡町教育委員会
徳島県立博物館	ミュージアム中仙道	川島町役場	関ヶ原青少年自然の家
徳島市立徳島城博物館	日本大正村・大正ロマン館	川島町民会館	土岐少年自然の家
高松市歴史資料館	中山道広重美術館	春日村役場	御嶽少年自然の家
香川県自然科学館	中津川市鉱物博物館	多治見市文化会館	岐阜市少年自然の家
香川県歴史博物館	中津川市博物館	各務原市民会館	岐阜県校長会館
愛媛県立博物館		ソフトピアジャパン	岐阜教育会
愛媛県総合科学博物館	〔博物館協会関係〕		飛騨地区教育長会
愛媛県歴史文化博物館	日本博物館協会	〔教育委員会関係〕	岐阜県高等学校理科助手研究会
高知市立自由民権記念館	栃木県博物館協会	北海道教育庁生涯学習部文化課	岐阜県PTA連合会
高知県立歴史民俗資料館	神奈川県博物館協会	青森県教育委員会	岐阜県郷土資料研究協議会
土佐市内家宝資料館	愛知県博物館協会	森田村教育委員会	岐阜県歴史資料保存協会
福岡市総合図書館	京都市内博物館施設連格協議会	日立市教育委員会	岐阜県高等学校文化連盟
芦屋町歴史民俗資料館	岐阜県博物館協会	群馬県教育委員会	
福岡市美術館	全国科学博物館協議会	群馬町教育委員会	
福岡市博物館	岡山県博物館協議会	東京都教育庁生涯学習部文化課	〔学校関係〕
北九州市立歴史博物館	デジタル・ミュージアム推進協議会	世田谷区教育委員会	東北芸術工科大学東北文化研究センター
北九州市立自然史博物館	環瀬戸内地域自然史系博物館ネット	日黒区教育委員会	東北大学総合学術博物館
九州歴史資料館	ワーク推進協議会	あきる野市教育委員会	秋田大学工学資源学部附属鉱業博物館
佐賀県立博物館		神奈川県教育委員会	山形大学附属博物館
			筑波大学歴史人類学系

筑波大学総合科学博物館	宮崎大学農学部農業博物館	丹青研究所	原の辻遺跡調査事務所
筑波大学地球科学系図書室	鹿児島大学総合研究博物館	東京都埋蔵文化財センター	北九州自然史友の会
図書館情報大学附属図書館	岐阜大学教育学部	かながわ考古学財団	岐阜県博物館友の会
跡見学園女子大学花菱記念資料館	岐阜大学教育学部博物館学芸員コース	平岡環境科学研究所	岐阜県文化財保護協会
川村学園女子大学図書館	岐阜市立女子短期大学	玉川文化財研究所	岐阜県文化財保護センター
東京大学史料編纂所	東海女子大学	久が原グリーンハイツ内遺跡発掘調査団	岐阜県議会事務局
学習院	岐阜聖徳学園大学	愛甲原小稲葉遺跡発掘調査団	岐阜県生活技術研究所
國學院高等学校	岐阜聖徳学園大学短期大学部	長野県埋蔵文化財センター	岐阜県産業文化振興事業団
お茶の水女子大学博物館学研究室	中部学院大学・中部学院大学短期大学部	富山県埋蔵文化財調査事務所	サイエンスワールド
東京農工大学工学部附属繊維博物館	岐阜経済大学	富山県埋蔵文化財センター	教育出版文化協会
実践女子大学美学美術史学科研究室	岐阜経済大学地域経済研究所	石川県白山自然保護センター	飛騨高山ふるさとを歩こう会
実践女子大学博物館学課程研究室	大垣女子短期大学	福井県自然保護センター	岐阜県考古学会
立教大学学芸員課程研究室	岐阜医療技術短期大学	水彩連盟愛知支部	悠斎研究会
東京大学地震研究所	可見高等学校	愛知県埋蔵文化財センター	各務原市埋蔵文化財調査センター
東京都立大学人文学部考古学研究室		東海能楽研究会	多治見市文化財保護センター
東洋大学		中部森林監理局名古屋分局	日本教育会
武蔵野美術大学	【研究機関・出版社・その他】	中部電力株式会社	岐阜県昆虫同好会
早稲田大学會津八一記念博物館	東京国立文化財研究所	考古学フォーラム	養老町文化財保護協会
国際基督教大学湯浅八郎記念館	奈良国立文化財研究所	御園座	大垣市文教協会
国学院大学考古学資料館	アイヌ文化振興・研究推進機構	行動と文化研究会	岐阜県民主同和促進協議会
国学院大学考古学研究室	北海道立アイヌ民族文化研究センター	津市埋蔵文化財センター	美濃民俗文化の会
東京農業大学農業資料室	北網圏北見文化センター	三重動物学会	霊山顕彰会岐阜県支部
日本大学文理学部自然科学研究室	青森県埋蔵文化財調査センター	三重自然誌の会	岐阜県哺乳動物調査研究会
日本大学生物資源科学部資料館	東北電力	日本直翅類学会	日本野鳥の会岐阜県支部
明治大学博物館	彩湖自然学習センター	滋賀県埋蔵文化財センター	岐阜県超古代文化研究会
明治大学学芸員養成課程	福島県文化財センター	滋賀県琵琶湖研究所	八幡町文化財保護協会
東京家政大学博物館	栃木県埋蔵文化財センター	日本イヌワシ研究会	武儀農業改良普及センター
神奈川大学日本常民文化研究所	産業技術総合研究所	中信美術奨励基金	日本美術刀剣新聞社
帝京大学山梨文化財研究所	群馬県埋蔵文化財調査事業団	坂田郡社会教育研究会文化財部会	岩波書店
新潟大学理学部地質学科教室図書館	理化学研究所	京都科学	美術年鑑社
金沢大学文学部考古学研究室	千葉県文化財センター	京都服飾文化研究財団	続群書類従完成会
金沢美術工芸大学	社会教育研修所	かもしかの会関西	東京美術
静岡大学理学部地球学科教室	東レ科学振興会	関西経済連合会	郡上史談会
東海大学社会教育センター	国立教育政策研究所	SIMANO	書道心画院
名古屋大学博物館	文化環境研究所	国民融合をめざす部落問題全国会議	北白川書房
名古屋大学美学美術史学研究室	株式会社 山武	古代学協会	西美濃わが街社
名古屋大学大地球水環境研究センター	発明協会	国際日本文化研究センター	コスモ石油（株）
名古屋経済大学・市邨学園短期大学自然科学研究会	全国過疎地域活性化連盟	鳥取市文化財団	岐阜新聞社
名古屋経済大学・市邨学園短期大学地域社会研究会	日本ユネスコ協会連盟	日本生命財団	
名古屋経済大学・市邨学園短期大学人文科学研究会	日本昆虫協会	クボタ	【個人】
名古屋経済大学・市邨学園短期大学学術研究センター	日本地震学会	コクヨ株式会社	宮崎 惇
名古屋造形芸術大学附属図書館	機械産業記念事業団	秋田書店	和田 博義
愛知大学総合郷土研究所	国画会事務局	明治書院	曾我 孝司
愛知大学文学會	東京文化財研究所	講談社	長尾 伴文
愛知大学豊橋教務課	平和祈念事業特別基金	国立劇場芸能調査室	野村 隆光
滋賀県立大学人間文化学部	あきる野市前原遺跡調査会	いふ企画	大澤 真美
種智院大学密教資料研究所	ボーラ伝統文化振興財団	霊山顕彰会	西垣 城次
京都工芸繊維大学美術工芸資料館	修復研究所	薬師寺	篠田 雅子
京都大学総合博物館	東北新幹線赤羽地区遺跡調査会	和歌山県環境生活部	田島 一男
京都大学大学院文学研究科	板橋区四葉遺跡調査会	奈良文化財研究所	安台 洲
立命館大学文学部国際平和ミュージアム	都立学校遺跡調査会	ユネスコ・アジア文化センター	吉田 墨山
仏教大学総合研究所	落川・一の宮遺跡調査会	黒川古文化研究所	石田 克
仏教大学文学部	菊葉文化協会	元興寺文化財研究所	野田 清影
同志社大学歴史資料館	日野新町一丁目住宅遺跡調査会	鳥取県埋蔵文化財センター	
同志社大学博物館学芸課程	自然科学観察研究会	岡山県自然保護センター	
関西大学博物館	マクシム・デユ・カン展実行委員会	厳島神社事務所	
大阪大学文学研究科考古学研究室	日本ナショナルトラスト	徳島県埋蔵文化財センター	
園田学園女子大学近松研究所	株式会社コロロ	香川県埋蔵文化財調査センター	
近畿大学民俗学研究所	東京貝類同好会	広島市文化財団	
天理大学附属天理参考館	マルチメディア振興センター	（株）熊平製作所	
九州産業大学芸術学会	NHK エンジニアリングサービス	比婆科学教育振興会	
	アジア女性基金	福岡市埋蔵文化財センター	
	地域創造		

〔利用状況〕

1 入館者数

本年度は、入館者数 73,592 で前年に比べて 22,744 人 44.7%の増加となった。これは、特別企画、催し物が好評であったことに加え、学校利用が増えたことが影響している。

また、開館日数は 日であり、1 日平均の入館者数は人であった。また、一日の入館者が最も多かった日は、5 月 5 日で 1,558 人を数えた。月別の入館者数は右表のとおりである。団体入館者数をみると 1,266 人で、入館総数の約 0.17%であった。月別では 9 月が 250 人で一番多く、団体入館者総数の 19.7%を占めている。

春季特別展及び秋季特別展期間中に入館者数は下表のとおりである。入館総数は 26,076 人を数え、一日平均は 318 人であった。

2 施設利用

今年度の講堂及び研修室等の利用者は、次のとおりであった。(学校は除く)

＜講堂＞

4/17	関市小中学校社会見学説明会
4/24	関蝶々会
4/27	岐阜県文楽・能保存振興協議会総会
5/23	岐阜県小学校社会科研究部会研修会
5/26	岐阜県吃音臨床研究会研修会
5/27	里山林整備ボランティアリーダー育成講座
6/12	岐阜県教育委員会研修管理課初任者校外研修
6/16	岐阜県中学校技術家庭科研究部会
6/17	里山林整備ボランティアリーダー育成講座
6/21	岐阜県高等学校教育研究会公民地歴部会
6/29	東海女子大学博物館研修
7/5	東海女子大学学芸員研修
7/27	中部学院大学学芸員実習
8/20～21	岐阜県高等学校教育課程研究集会
9/3	岐阜県高等学校校長会理事会
9/14	岐阜県高等学校商業校長会
9/18	岐阜県高等学校教頭協会理事会
9/21	三重県厚生年金受給者協会研修会
10/14	岐阜県オリエンタリング協会会議
10/23	芥見幼稚園母親の会キンダータイム
10/30	北方町社会福祉協議会
11/2～4	岐阜県教育センター科学作品展
11/18	長良川流域森林・林業活性化センター説明会
1/20	岐阜大学教育学部理科教育講義
2/26	岐阜県小学校社会科研究部会代議員会

＜研修室＞

4/29	岐阜県哺乳動物調査研究会研修会
7/5	久瀬村文化審議委員会研修会
7/14	岐阜県植物誌調査会準備会
7/15	里山林整備ボランティアリーダー育成講座
8/3	羽島市小学校理科部会研修会
8/11	岐阜県植物誌調査会準備会
8/23	岐阜県高等学校活力向上検討委員会による学区別会議
8/30	恵北自然愛護の会勉強会
9/1	岐阜県植物誌調査会準備会
10/13	岐阜県植物誌調査会準備会
10/14	全日本オリエンタリング役員会議
10/17	岐阜県聴覚障害者（養老支部）
10/23	各務原市中学校理科部会
11/17	岐阜県植物誌調査会準備会
11/28	武儀郡中堅教育研修会
12/15	岐阜県植物誌調査会準備会
1/23	NPO 法人メタセコイアの森の仲間たち
1/19	岐阜県植物誌調査会準備会
1/23	関市教育研究会理科部会
2/9	岐阜県植物誌調査会準備会
3/3	岐阜県植物誌調査会準備会
3/9	岐阜県植物誌調査会準備会

月	小中高生	大学生	一 般	計	開館日数	一日平均
4	2,019	38	3,088	5,145	26	198
5	3,921	53	4,841	8,815	26	339
6	2,037	67	3,088	5,192	26	200
7	1,250	70	2,184	3,504	26	135
8	2,715	108	5,116	7,939	27	294
9	2,365	62	3,752	6,179	26	238
10	5,411	34	3,618	9,063	26	349
11	4,616	38	3,645	8,299	26	319
12	820	27	1,841	2,688	23	117
1	1,140	17	3,549	4,706	24	196
2	1,436	42	3,690	5,168	24	215
3	2,059	37	4,798	6,894	27	255
計	29,789	593	43,210	73,592	307	240

特 別 展 名	期 間	小中高生	大学生	一 般	計
あのころいた鳥	7 / 20 ～ 9 / 16	4,954	187	8,712	13,857
七代目団十郎と 国貞、国芳	9 / 30 ～ 11 / 4	6,740	49	5,434	12,223
計		11,694	236	14,146	26,076

＜ハイビジョンホール＞

4/14	岐阜県警察学校初任科生研修
4/23	市町村文化行政担当課長会議
4/24	関蝶々会
5/15	県政モニター
6/12	岐阜県教育委員会研修管理課初任者校外研修
8/9	走る県政バス
8/31	走る県政バス
9/23	走る県政バス
10/8	岐阜県警察学校初任科生研修
11/21	博物館協会研修
12/2	走る県政バス
3/24	走る県政バス

〔博物館関係団体〕

1 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和 41 年に設立された。

公開講座（年 4 回）、機関紙発行（季刊）、会員研修会（年 3 回）等の諸活動をくり広げ、設立の目的に沿うように努力した

平成 14 年 3 月現在、会員館園は 142、個人会員は 22 名主な役員は次のとおり。

名誉会長…梶原拓、会長…欠員、副会長…青木允夫土野守、遠藤祐祐、理事長…松本五三、事務局は岐阜県博物館内にある。

＜主な事業＞

5 / 7	役員会及び通常総会
6 / 1	機関紙委員会
6 / 7 ～ 8	東海地区博物館連絡協議会総会
6 / 12	第 49 回会員研修会
6 / 17	第 88 回公開講座
7 / 28 ～ 29	第 89 回公開講座
7 / 31	機関紙「岐阜の博物館」第 134 号発行
8 / 2 ～ 3	東海三県博物館協会交流研修会
9 / 19 ～ 20	第 50 回会員研修会
10 / 7	第 90 回公開講座
10 / 31	機関紙「岐阜の博物館」第 135 号発行
10 / 15 ～ 16	全国博物館大会
11 / 21	第 51 回会員研修会
12 / 28	機関紙「岐阜の博物館」第 136 号発行
2 / 7	会員研修委員会
3 / 3	第 91 回公開講座
3 / 3	公開講座委員会
3 / 4	常任理事会
3 / 31	機関紙「岐阜の博物館」第 137 号発行

2 岐阜県博物館友の会

今年度は一般会員数 497 名、後援会員 29 口で昨年度に比べ会員数が 8 名減少した。原因は学生会員の 13 名減である。一般会員はわずかであるが増加した。しかし、会員の高齢化などで、長年友の会に協力いただいた方々の退会が増えてきたことは残念である。今後は新しい会員の入会を関市の広報、会員によるクチコミ等を通じて今まで以上に積極的に働きかけていくことが必要と考える。

友の会の研修事業の中心行事である探訪の旅を今年度も 4 回行なった。

第 1 回（5 月 7 日）「花の寺を訪ねて」（長谷寺、室生寺）長谷寺のボタンは数日遅く、室生寺のシャクナゲは数日早すぎ、共に満開の花を楽しむことはできなかったが、5 月のさわやかな風のもと一日の旅を楽しんだ。しかし、自然を相手の探訪の旅の期日決定の難しさを感じた。

参加者 92 名

第 2 回（9 月 24 日）「飛騨の文化を訪ねて」（飛騨・世界文化センター、安国寺、千光寺）7 月オープンした飛騨センターでは渡辺文雄館長に出迎えていただき、会員を前に挨拶があった。また千光寺の付属資料館では円空仏について館長さんの説明があり、立木に彫られた仏や、飛騨の伝説的人物両面宿禰像など多くの円空仏に感激した。安国寺でも住職による国宝「経蔵」の説明があり、多くの質問がなされ会員の学習意欲の一端が伺われた。

参加者 88 名

第 3 回（12 月 4 日～6 日）「萩焼、備前焼を訪ねて」（津和野、萩焼資料館、松下村塾、備前焼美術館等）

講師に小原克朗、前友の会事務局長を招き、萩焼・備前焼についての解説を行った。参加者は陶芸に深い関心を持つ人たちが探訪先や内容についても十分満足をしていただいた。

参加者 37 名

第 4 回（3 月 15 日）「京都・奈良の古寺を訪ねて」（新薬師寺、浄瑠璃寺、岩船寺）名前は聞いているが実際訪れる機会の少ない三寺を訪問。ちょっとマニアックなお寺であったが、大勢の会員の参加を得て成功裏に終えることができた。

参加者 128 名

いずれの探訪も募集人員を越えた。車中、学芸員の解説や関連事項のビデオを鑑賞、現地では専門家の解説を依頼するなどした。参加者からは多くの質問が出るなど有意義な探訪の旅であった。

会員によるボランティア活動

特別行事「七草がゆをたべよう」は、会員のボランティア活動として定着しており、前日から多くのボランティアの人たちにより準備がなされた。当日は悪天候で来館者の減少を心配したが準備した 400 食は無病息災を願う人たちですべていただくことができた。

従来、ボランティア活動は七草粥の時が中心であったが、昨年度から、夏・秋の特別展や、博物館との共催事

業においても活動をした。生涯学習の立場からも、また、友の会の設立主旨からも今後はこの方面において、更なる充実を図ることができればと考えている。

来年度も、会員数の確保、探訪の旅の充実とともに博物館の特別展や講座、催し物への会員の積極的な参加やボランティア活動への参加を呼びかけ、「博物館事業の普及、会員相互の教養と親睦」を深め、「魅力ある友の会」、「誰でも気軽に参加できる友の会」を目指し、今年度の反省をもとに健全な運営、創意工夫ある企画を進めたい。

平成 13 年度の主な事業、行事は次の通りである。

- 1 会議
- 役員会 4 月 28 日 総会 4 月 28 日
- 役員会 11 月 4 日 三役会 2 月 20 日
- 探訪の旅委員会 6/14, 7/26, 2/17
- 会報委員会 6/2, 8/30, 11/24, 3/7
- 2 研修事業
- (1) 探訪の旅（前述の四回）
- (2) 文化講演会
- 「市川団十郎と江戸の歌舞伎」
- 日本女子大学教授：服部幸雄氏
- 3 会報発行
- 第 67 号～第 70 号 A4 6 頁 各 450 部
- 4 資料などの作成と頒布
- (1) 特別展図録発行
- 「あのころいた鳥」
- ―柳原さんがあつめた鳥― 1000 冊
- ―絶滅のおそれのある鳥― 1000 冊
- 「七代目団十郎と国貞、国芳」 1000 冊
- (2) 図録の増刷
- 「飛騨の匠」 1000 冊
- 「輪中と治水」 1000 冊
- 5 博物館との共催事業
- (1) 特別行事 「百年公園・博物館を写生しよう」
- 「岐阜の化石ゼミナール」
- 「七草がゆを食べよう」
- (2) たのしい博物館「火起こし器をつくろう」
- 「土笛をつくろう」
- 「クイズで探検!! 博物館」 2 回
- 「化石をつくろう」 3 回
- 「恐竜ナイトツアー」 2 回
- (3) 博物館講座 「バードカービング」 2 回
- (4) 「博物館だより」増刷 74～76 号 各 350 部
- 6 会員入館料の補助と寄贈
- 特別展、常設館入館料補助
- 図書の寄贈

Ⅳ 利用案内（平成14年度）

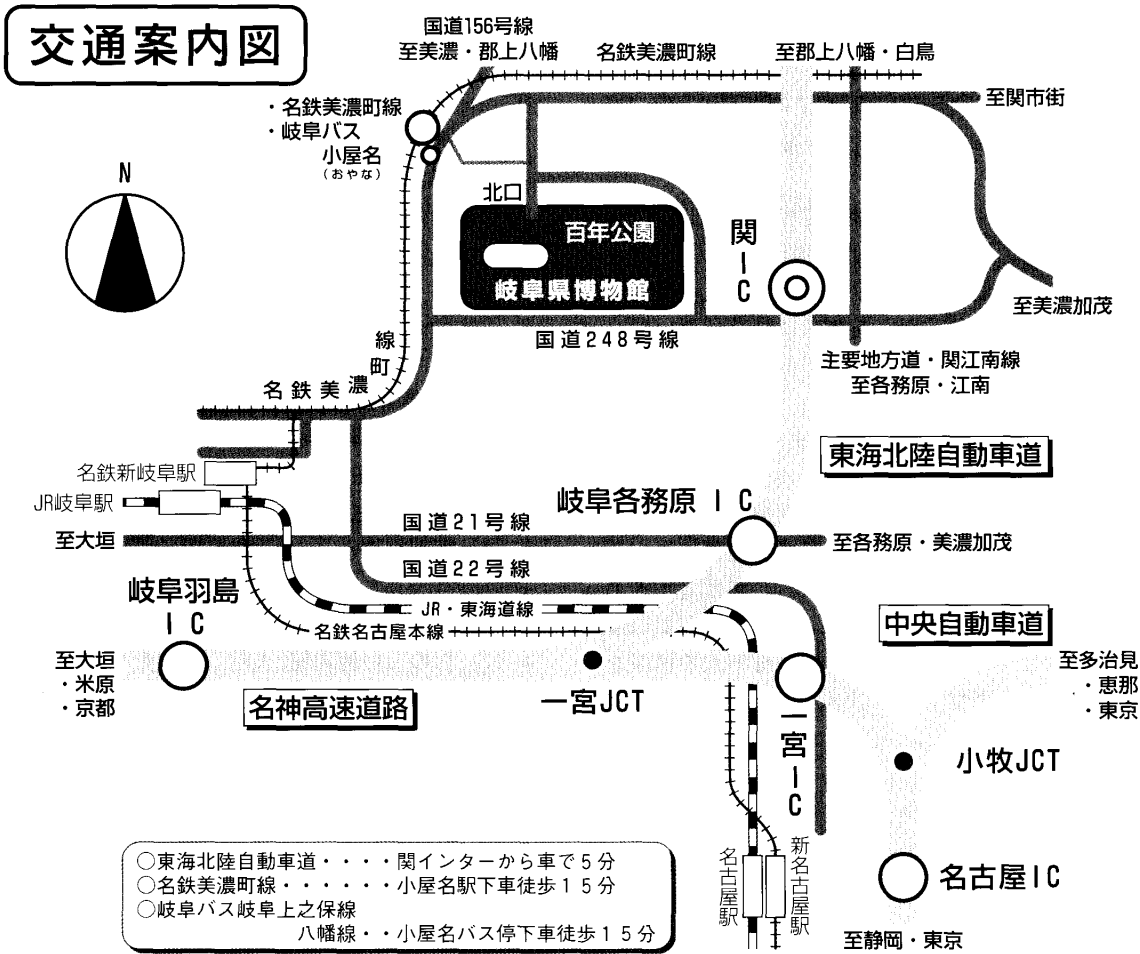
- 開館時間 4月1日～10月31日 9時～16時30分
11月1日～3月31日 9時30分～16時30分
(入館は16時まで)

●入館料

区 分	個 人	団体（20人以上）
一 般	320 円	260 円
大 学 生	110 円	50 円
小・中・高	無 料	無 料

※特別展開催中は入館料がかかります。

- 休 館 日 月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌日）
年末年始（12月28日、1月3日）
- 駐 車 場 博物館には駐車場がありませんので、百年公園の駐車場をご利用ください。
駐車料金…普通（軽）自動車 300 円、バス 820 円
- 交 通 名鉄美濃町線 小屋名駅下車 徒歩 15 分
岐阜バス 小屋名下車 徒歩 15 分
自家用車をご利用の場合は、百年公園北口からお入り下さい。



〒501-3941 岐阜県関市小屋名字小洞1989 ☎ (0575) 28-3111 (代表) FAX (0575) 28-3110
URL <http://www.museum.pref.gifu.jp>